

TTC 標準

TTC STANDARD

JT-Q2650

広帯域 ISDN(B-ISDN)No.7 信号方式
B-ISDN B-ISDN ユーザ部(B-ISUP)と
デジタル加入者線信号方式
No.2(DSS2)とのインターワーキング

Broadband ISDN (B-ISDN) Interworking between
Signalling System No.7 Broadband ISDN User
Part(B-ISUP) and Digital Subscriber Signalling
System No.2 (DSS2)

第2版

2001年4月19日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

< 参考 >

1 . 英文記述の適用レベル

本標準には、英文記述は含まれていない。

2 . 国際勧告等との関係

本標準は、ITU-T 勧告 Q.2650 (1999 年 12 月) に準拠したものである。

3 . 上記国際勧告等に対する追加項目等

3.1 オプション選択項目

なし

3.2 ナショナルマター項目

なし

3.3 その他

- (1) 本標準は上記 ITU-T 勧告に対し、先行している項目はない。
- (2) 本標準は上記 ITU-T 勧告に対し、追加している項目はない。
- (3) 本標準は上記 ITU-T 勧告に対し、以下の項目を削除している。

(a) 2 章 略語「SAM」

表 4-2 分割発呼における後続アドレス情報のマッピング

4.2.5 節 発 UNI が分割発呼、非自動応答端末の場合

4.2.6 節 発 UNI が分割発呼、網がオーバーラップ転送、非自動応答端末の場合

表 8-2 分割発呼における後続アドレス情報のマッピング

8.1.2 節 メッセージシーケンス

これらの項目を削除した理由は、本標準が規定するインタワーク手順の対象となる TTC 標準 JT-Q2931 および JT-Q2764 において、分割発呼 / 着呼手順を規定していないことによる。

(b) B-ISUP 及び DSS2 のいずれかが未規定の機能は、削除している。

(c) 8.3 節 発信者番号通知(CLIP) / 発信者番号通知制限(CLIR)

8.4 節 接続先番号通知(COLP) / 接続先番号通知制限(COLR)

8.7 節 閉域接続(CUG)

これらの項目を削除した理由は、現時点では TTC 標準として制定されていない規定を参照していることによる。ただし、参考のため記述は行う。

(d) 9.7 節 会議通話(CONF) - アッドオン

9.8 節 三者通話(3PTY)

9.10 節 優先割り込み(MLPP) 9.12 節 ユーザ・ユーザ情報転送サービス 2 (UUS2)

9.13 節 ユーザ・ユーザ情報転送サービス 3 (UUS3)

9.14 節 イクスプリシット・コールトランスファ(ECT)

9.15 節 悪意呼通知(MCID)

9.16 節 話中時再呼出(CCBS)

9.17 節 無応答時再呼出(CCNr)

9.18 節 グローバル仮想網サービス(GVNS)

9.19 節 着信課金

これらの項目を削除した理由は、対応する N-ISDN 付加サービスまたは B-ISUP の規定が現時

点では TTC 標準として制定されていないことによる。ただし、参考のため記述は行う。

なお、ITU-T 勧告で規定しているが本標準では規定しない事項で、本標準の理解を助けるために記載しているものは“ # ”で表示する。

- (4) 図と表の番号に関し、上記 ITU-T 勧告では勧告全体で一連番号を付与しているのに対し、本標準では章ごとに一連番号を付与している。
- (5) 付加サービスの名称は、原則として TTC 標準 JT-I25X に準ずる。
- (6) TTC 標準 JT-Q2761～4 は、ITU-T 勧告 Q.2761～4 第 1 版（1995 年 2 月制定）に準拠している。しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2761～4 第 2 版（1999 年 11 月制定）を参照しているため、必要に応じて ITU-T 勧告 Q.2761～4 第 2 版以降を参照すべきである。

3.4 原勧告と章立ての構成比較表

ITU-T 勧告	本標準
1 章	1 章
2 章	2 章
3 章	3 章
4 章	4 章
5 章	5 章
6 章	6 章
6 A 章	7 章
7 章	8 章
8 章	9 章

4 . 改版の履歴

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 版	1997 年 4 月 23 日	制 定
第 2 版	2001 年 4 月 19 日	ITU-T 勧告 Q . 2 6 5 0 (1 9 9 9 改 版) に 準 拠 し、 改 版

5 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページでご覧になれます。

6 . その他

特になし。

目 次

1 . 規定範囲	1	
2 . 参考文献	1	
3 . 略語	3	
4 . 完了呼の呼設定手順におけるインタワーキング規定	5	
4.1 マッピング表	5	
4.2 メッセージシーケンス	12	
4.2.1 一括発呼、着 UNI メッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信、 非自動応答端末	12	
4.2.2 一括発呼、着 UNI メッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信、 自動応答端末	14	
4.2.3 一括発呼、非自動応答端末の場合	15	
4.2.4 一括発呼、自動応答端末の場合	16	
4.2.5 発 UNI が分割発呼、非自動応答端末の場合	16	#
4.2.6 発 UNI が分割発呼、網がオーバーラップ転送、非自動応答端末の場合	16	#
4.2.7 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ、着 UNI メッセージとは独立した 「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信	17	
4.2.8 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ	18	
5 . 呼解放手順におけるインタワーキング規定	19	
5.1 マッピング表	19	
6 . 不完了呼の呼設定手順におけるインタワーキング規定	19	
6.1 マッピング表	19	
6.2 メッセージシーケンス	20	
6.2.1 不完了呼の呼設定	20	
7 . その他の手順におけるインタワーキング規定	21	
7.1 変更	21	
7.1.1 マッピング表	21	
7.1.2 メッセージシーケンス	23	
8 . B-ISDN 付加サービスにおけるインタワーキング規定	26	
8.1 ダイレクトダイヤルイン(DDI)	26	
8.1.1 マッピング表	26	
8.1.2 メッセージシーケンス	26	#
8.2 複数加入者番号(MSN)	27	
8.2.1 マッピング表	27	
8.3 発信者番号通知(CLIP) / 発信者番号通知制限(CLIR)	28	#
8.3.1 マッピング表	28	
8.4 接続先番号通知(COLP) / 接続先番号通知制限(COLR)	29	#
8.4.1 マッピング表	29	
8.4.2 マッピング表	29	
8.5 サブアドレス(SUB)	30	
8.5.1 マッピング表	30	
8.6 UUS1 付加サービスにおける相互接続	30	

8.6.1	マッピング表	30	
8.6.2	マッピング表	31	
8.6.3	マッピング表	31	
8.6.4	マッピング表	31	
8.7	閉域接続(CUG)	32	#
8.7.1	マッピング表	32	
9	B-ISDN で提供されない N-ISDN 付加サービスにおけるインタワーキング規定	32	
9.1	ビジター到着信転送(CFB)	32	
9.1.1	マッピング表	32	
9.2	無応答到着信転送(CFNR)	33	
9.3	無条件着信転送(CFU)	33	
9.4	呼毎着信転送(CD)	33	
9.5	コールウェイティング(CW)	33	
9.6	保留(HOLD)	33	
9.7	会議通話(CONF) - アッドオン	33	#
9.8	三者通話(3PTY)	33	#
9.9	端末移動(TP)	33	
9.9.1	マッピング表	34	
9.10	優先割り込み(MLPP)	34	#
9.11	ユーザ・ユーザ情報転送サービス 1 (UUS1) (明白な要求)	34	
9.11.1	マッピング表	34	
9.12	ユーザ・ユーザ情報転送サービス 2 (UUS2)	36	#
9.12.1	マッピング表	36	
9.13	ユーザ・ユーザ情報転送サービス 3 (UUS3)	37	#
9.13.1	マッピング表	37	
9.14	イクスプリシット・コールトランスファ(ECT)	38	#
9.14.1	マッピング表	38	
9.15	悪意呼通知(MCID)	39	#
9.15.1	マッピング表	40	
9.16	話中時再呼出 (CCBS)	41	#
9.16.1	マッピング表	41	
9.17	無応答時再呼出(CCNr)	41	#
9.17.1	マッピング表	41	
9.18	グローバル仮想網サービス(GVNS)	42	#
9.19	着信課金	42	#

1 . 規定範囲

本標準では、B-ISDN DSS2 アクセスインタフェースのレイヤ 3 の機能およびプロトコルと No.7 信号方式の B-ISDN ユーザ部の機能およびプロトコル間のインタワーキングについて規定する。本標準で規定するインタワーキングに関して、B-ISDN ユーザ部は、TTC 標準 JT-Q2761 ~ 4、JT-Q2723、JT-Q2725.2

ならびに、ITU-T 勧告 Q.2730 に規定されている。DSS2 アクセスインタフェースは、TTC 標準 JT-Q2931、ITU-T 勧告 Q.2933、TTC 標準 JT-Q2961.1 ~ 3、ITU-T 勧告 Q.2961.4 ~ 5、TTC 標準 JT-Q2961.6、TTC 標準 JT-Q2962.1、TTC 標準 JT-Q2963.1、ITU-T 勧告 Q.2963.2 ~ 3、TTC 標準 JT-Q2951、ITU-T 勧告 Q.2951.9 ならびに、ITU-T 勧告 Q.2957 に規定されている。

(TTC 注) TTC 標準 JT-Q2761 ~ 4 は ITU-T 勧告 Q.2761 ~ 4 第 1 版 (1995 年 2 月制定) に準拠している。

しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2761 ~ 4 第 2 版 (1999 年 11 月制定) を参照している。そのため、本標準では必要に応じて TTC 標準 JT-Q2723、JT-Q2725.2 および、ITU-T 勧告 Q.2761 ~ 4 第 2 版以降を参照すべきである。

上記の 2 つの信号プロトコル間の代表的なインタワーキングは、純粋な B-ISDN 環境下の典型的な呼において規定され、B-ISDN 加入者線交換機内で発生する。なお、64kbit/s N-ISDN エミュレーションサービスの提供に関しては本標準の規定範囲に含まれる。

本標準の目的は、B-ISDN ユーザ部プロトコルと DSS2 プロトコル間のインタワーキングを規定することにある。

インタワーキングはメッセージシーケンスとして示される。B-ISDN ユーザ部と DSS2 の両方のプロトコルには多数のオプションがあるため、メッセージシーケンスにはすべての場合が示されているわけではなく、典型的な例だけが示されている。さらに DSS2 プロトコルのメッセージおよび情報要素と B-ISDN ユーザ部のメッセージとパラメータの関係を定義するため、マッピングの表が示されている。

表は B-ISDN ユーザ部メッセージにマッピングされる DSS2 プロトコルメッセージ毎に示され、さらにそのメッセージで転送される情報の要素のマッピングも示されている。

情報の要素の定義区間がローカルである、すなわち他方の信号システムの情報の要素にはマッピングされない情報は示されていない。

本標準で使用されるメッセージシーケンスでは、DSS2 と B-ISUP の呼制御プロトコル間のインタワーキングによるメッセージの動きが示される。交換機内部の処理については示されず、交換機とユーザ / 交換機とのやり取りのみが示される。

2 . 参考文献

以下の TTC 標準とその他の参考文献は、本標準中で参照されることにより本標準の規定の一部を構成する。ここでは、本標準が制定された時点での有効な版数を示しているが、すべての標準や勧告および参考文献は改訂されうる。そのため、本標準の利用者は、以下に示した標準や勧告および参考文献の最新版を参照すべきである。現在の有効な TTC 標準および ITU-T 勧告の一覧は正式に出版されている。

- | | |
|---------------------------------|---|
| [1] ITU-T 勧告 E.164 (05/1997) : | The International Public Telecommunication Numbering Plan |
| [2] ITU-T 勧告 E.191 (10/1996) : | B-ISDN Numbering and Addressing |
| [3] TTC 標準 JT-Q2931 (04/2000) : | 広帯域 ISDN ユーザ・網インタフェースレイヤ 3 仕様 基本呼 / コネクション制御 |
| [4] TTC 標準 JT-Q2763 (04/2001) : | 広帯域 ISDN (B-ISDN) No.7 信号方式 B-ISDN ユーザ部 |

(B-ISUP) フォーマット及びコード

(TTC 注) TTC 標準 JT-Q2763 は ITU-T 勧告 Q.2763 第 1 版 (1995 年 2 月制定) に準拠している。

しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2763 第 2 版 (1999 年 11 月制定) を参照しているため、必要に応じて ITU-T 勧告 Q.2763 第 2 版以降を参照すべきである。

- [5] TTC 標準 JT-Q2764 (11/1995) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) No.7 信号方式 B-ISDN ユーザ部 (B-ISUP) 基本呼手順

(TTC 注) TTC 標準 JT-Q2764 は ITU-T 勧告 Q.2764 第 1 版 (1995 年 2 月制定) に準拠している。

しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2764 第 2 版 (1999 年 11 月制定) を参照しているため、必要に応じて ITU-T 勧告 Q.2764 第 2 版以降を参照すべきである。

- [6] TTC 標準 JT-I371 (11/1996) : 広帯域 ISDN におけるトラヒック制御と輻輳制御

- [7] TTC 標準 JT-I356 (11/1997) : 広帯域 ISDN の ATM レイヤセル転送機能

- [8] ITU-T 勧告 X.213 | ISO/IEC 8348 (11/1995) : Information Technology – Open Systems Interconnection – Network Service Definition

- [9] TTC 標準 JT-Q2761 (04/1995) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) No.7 信号方式 B-ISDN ユーザ部 (B-ISUP) の機能

(TTC 注) TTC 標準 JT-Q2761 は ITU-T 勧告 Q.2761 第 1 版 (1995 年 2 月制定) に準拠している。

しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2761 第 2 版 (1999 年 11 月制定) を参照しているため、必要に応じて ITU-T 勧告 Q.2761 第 2 版以降を参照すべきである。

- [10] TTC 標準 JT-Q2762 (04/2000) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) No.7 信号方式 B-ISDN ユーザ部 (B-ISUP) 信号と信号情報の機能概要

(TTC 注) TTC 標準 JT-Q2762 は ITU-T 勧告 Q.2762 第 1 版 (1995 年 2 月制定) に準拠している。

しかしながら、本標準が準拠する ITU-T 勧告 Q.2650 は、ITU-T 勧告 Q.2762 第 2 版 (1999 年 11 月制定) を参照しているため、必要に応じて ITU-T 勧告 Q.2762 第 2 版以降を参照すべきである。

- [11] ITU-T 勧告 Q.2730 (02/1995) : Broadband Integrated Services Digital Network (B-ISDN) – Signalling System No.7 B-ISDN User Part (B-ISUP) – Supplementary Services

- [12] ITU-T 勧告 Q.2933 (07/1996) : Digital Subscriber Signalling System No.2 (DSS2) – Signalling Specification for Frame Relay Service

- [13] TTC 標準 JT-Q2961.1 (11/1997) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2) 追加トラヒックパラメータ

- [14] TTC 標準 JT-Q2961.2 (11/1999) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2) 広帯域伝達能力情報要素における ATM 転送能力の提供

- [15] TTC 標準 JT-Q2961.3 (04/1999) : 広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2) 追加トラヒックパラメータ : ABR ATM 転送能力サ

	ポートのための信号能力	
[16] ITU-T 勧告 Q.2961.4 (09/1997) :	Digital Subscriber Signalling System No.2 – Additional Traffic Parameters: Signalling Capabilities to Support Traffic Parameters for the ATM Block Transfer (ABT) ATM Transfer Capability	
[17] ITU-T 勧告 Q.2961.5 (03/1999) :	Digital Subscriber Signalling System No.2 – Additional Traffic Parameters: Signalling Capabilities to Support Cell Delay Variation Tolerance	
[18] TTC 標準 JT-Q2961.6 (04/1999) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2) SBR2 および SBR3 ATM 転送能力サポートのための追加信号手順	
[19] TTC 標準 JT-Q2962.1 (04/2000) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2(DSS2)呼 / コネクション設定時のコネクション特性の交渉	
[20] TTC 標準 JT-Q2963.1 (04/1997) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2)コネクション特性変更 - コネクション所有者によるピークセルレート変更	
[21] ITU-T 勧告 Q.2963.2 (09/1997) :	Digital Subscriber Signalling System No.2 – Connection Modification: Modification Procedures for Sustainable Cell Rate Parameters	
[22] ITU-T 勧告 Q.2963.3 (05/1998) :	Digital Subscriber Signalling System No.2 – Connection Modification: ATM Traffic Descriptor Modification with Negotiation by the Connection Owner	
[23] TTC 標準 JT-Q2951 (11/1998) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2)基本呼を利用する番号通知付加サービスのためのステージ3記述	
[24] ITU-T 勧告 Q.2951.9 (12/1999) :	B-ISDN DSS 2 Support of ATM End System Addressing Format by Number Identification Supplementary Services	
[25] TTC 標準 JT-Q2957.1 (11/1999) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) デジタル加入者線信号方式 No.2 (DSS2)基本呼を利用する付加情報転送付加サービスのためのステージ3記述・ユーザ・ユーザ情報転送 (UUS)	
[26] ITU-T 勧告 Q.2735.1 (06/1997) :	Signalling System No.7 B-ISDN User Part (B-ISUP) – Closed user group supplementary service	
[27] TTC 標準 JT-Q2723 (04/1996) :	広帯域 ISDN (B-ISDN) No.7 信号方式 B-ISDN ユーザ部 (B-ISUP) 追加パラメータ	*
[28] TTC 標準 JT-Q2725.2 (04/2000) :	B-ISDN ユーザ部変更手順	*

3 . 略語

本標準の目的のため、以下の略語が用いられる。

B-ISUP メッセージ

ACM	Address Complete Message	アドレス完了
ANM	Answer Message	応答
COA	Connection Available Message	コネクション使用可

CPG	Call Progress Message	呼経過	
CTM	Call Transfer Message	呼転送	#
IAA	Initial Address Acknowledgement Message	アドレス確認	
IAR	Initial Address Reject Message	アドレス拒否	
IAM	Initial Address Message	アドレス	
IDR	Identification Request Message	番号要求	#
IRS	Identification Response Message	番号応答	#
LOP	Loop Prevention Message	ループ抑止	#
MOA	Modify Acknowledgement Message	変更確認	
MOD	Modify Request Message	変更要求	
MOR	Modify Reject Message	変更拒否	
REL	Release Message	解放	
RES	Resume Message	再開	
SAM	Subsequent Address Message	後続アドレス	#
SUS	Suspend Message	中断	
USR	User-to-User Information Message	ユーザ・ユーザ情報	

(TTC注) : COA (コネクション利用可) は、TTC 標準 JT-Q2725.2 第 1 版では MOC (変更完了) と呼んでいるメッセージと同一メッセージである。

DSS2 メッセージ

ALERT	ALERTING	呼出	
CALL PROC	CALL PROCEEDING	呼設定受付	
CONN	CONNECT	応答	
CONN ACK	CONNECT ACKNOWLEDGEMENT	応答確認	
INFO	INFORMATION	付加情報	
NOTIFY	NOTIFY	通知	
PROG	PROGRESS	経過表示	
REL	RELEASE	解放	
RLC	RELEASE COMPLETE	解放完了	
SETUP	SETUP	呼設定	
SETUP ACK	SETUP ACKNOWLEDGEMENT	呼設定確認	
CONN	CONNECTION AVAILABLE	コネクション使用	*
AVAIL		可	*
MOD REQ	MODIFY REQUEST	変更要求	*
MOD ACK	MODIFY ACKNOWLEDGEMENT	変更確認	*
MOD REJ	MODIFY REJECT	変更拒否	
一般用語			
IE	Information Element (of DSS 2)	情報要素	
U/N	User/Network	ユーザ/網	

4. 完了呼の呼設定手順におけるインタワーキング規定

4.1 マッピング表

本節では、完了呼の呼設定メッセージと関連するパラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。全てのマッピング表は、B-ISDN 特有サービスおよび N-ISDN エミュレーションサービスのための DSS2 情報要素と B-ISUP パラメータを示す。(表 4-1 ~ 表 4-8 / JT-Q2650 参照)

表 4 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 B-ISDN 呼の呼設定手順におけるパラメータのマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 SETUP	網 IAM	着ユーザ / 網 SETUP	
呼設定 (SETUP)	アドレス (IAM)	呼設定 (SETUP)	
AALパラメータ	AALパラメータ (注22) AALプライムパラメータ (注22) #	AALパラメータ	
代替 ATM トラヒック記述子	代替 ATM セルレート	代替 ATM トラヒック記述子	#
ABR 設定パラメータ	ATC 設定パラメータ	ABR 設定パラメータ	#
ATM トラヒック記述子	ATMセルレート (注1) 追加 ATM セルレート (注1)	ATM トラヒック記述子	
広帯域伝達能力	広帯域伝達能力	広帯域伝達能力	
広帯域低位レイヤ情報	広帯域低位レイヤ情報 (注2)	広帯域低位レイヤ情報 (注17)	
広帯域高位レイヤ情報	広帯域高位レイヤ情報	広帯域高位レイヤ情報	
広帯域送信完了	ST (着番号のアドレス情報) #	広帯域送信完了	
広帯域報告種別	報告種別 (注25) 報告種別プライム (注25)	広帯域報告種別	# #
着番号 (注3) 着番号 (注4) - アドレス / 番号ディジット (注5) - アドレス / 番号計画識別 (注6) - 番号種別 (注7)	着番号 AESA着番号 # (ITU-T 勧告 Q.2763 を参照) # 着番号 - アドレス情報 (注8) - 番号計画表示 (注9) - 番号種別表示	着番号 (注10、26) AESA着番号の第2オクテット 以降に格納されるのと同じ情報が 第5オクテット以降に格納される。 #	
CDVT 記述子	セル遅延変動許容値	CDVT 記述子	
エンド・エンド中継遅延	伝播遅延カウンタ および 最大エンド・エンド中継遅延 (注11) エンド・エンド中継遅延網生成識 別子 (注24)	エンド・エンド中継遅延	#
拡張 QoS パラメータ	拡張 QoS パラメータ #	拡張 QoS パラメータ	#
リンクレイヤコアパラメータ	リンクレイヤコアパラメータ	リンクレイヤコアパラメータ	#
リンクレイヤプロトコルパラメータ	リンクレイヤプロトコルパラメータ	リンクレイヤプロトコルパラメータ	#
最小許容 ATM トラヒック記述子	最小 ATM セルレート	最小許容 ATM トラヒック記述子	#
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力 (注12)	狭帯域伝達能力 (注18)	
狭帯域低位レイヤ整合性	狭帯域低位レイヤ整合性 (注13)	狭帯域低位レイヤ整合性 (注19)	
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性 (注14)	狭帯域高位レイヤ整合性 (注20)	
通知識別子	通知 (注23)	通知識別子	
OAM トラヒック記述子	OAM トラヒック記述子 (注15)	OAM トラヒック記述子	
経過識別子	経過識別子 (注16)	経過識別子 (注21)	
QoS パラメータ	QoS パラメータ	QoS パラメータ	
中継網選択 (網オプション)	中継網選択	送信しない	

- 注1：ピークセルレートサブフィールドはATMセルレートパラメータにマッピングされる。さらにサブフィールドが存在する場合は、追加ATMセルレートパラメータにマッピングされる。
- 注2：広帯域低位レイヤ情報情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931を参照）。繰り返される場合、全ての情報要素が網内では単一の広帯域低位レイヤ情報パラメータにマッピングされる。広帯域繰り返し識別子情報要素は、本パラメータの繰り返し表示サブフィールドにマッピングされる。
- 注3：着番号がE.164番号を含んでいる場合、着番号情報要素は着番号パラメータにマッピングされる。
- 注4：着番号がAESAを含んでいる場合、着番号情報要素はAESA着番号パラメータにマッピングされる。当該AESAがE.164AESAの場合、IDI（initial domain identifier）は着番号パラメータにあわせてマッピングされる。 #

#
- 注5：アドレス情報はITU-T勧告E.191に記述されるとおりにコーディングされる。
- 注6：番号計画識別はATMエンドシステムアドレスにコーディングされる。 #
- 注7：ATMエンドシステムアドレスを用いる場合、番号種別は“不定”にコーディングされる。 #
- 注8：E.164AESAを用いる場合、アドレス情報は着番号情報要素中のATMエンドシステムアドレスのIDI（initial domain identifier）フィールドから抜き出したE.164番号を用いてコーディングされる。 #

#
- 注9：番号計画表示はE.164にコーディングされる。
- 注10：着側ユーザ・網インタフェースにおけるアドレス表現形式により、着ユーザに転送される情報がTable1/Q.2951.9に示されている。
- 注11：エンド・エンド中継遅延情報要素の累計中継遅延値サブフィールドは、伝播遅延カウンタにマッピングされる。最大エンド・エンド中継遅延値サブフィールドは、網内では最大エンド・エンド中継遅延パラメータにマッピングされる。最大エンド・エンド中継遅延パラメータが存在する場合のみ、着交換機において伝播遅延カウンタ値は累計中継遅延値サブフィールドにマッピングしなおされる。
- 注12：狭帯域伝達能力情報要素は、繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931を参照）。上記注2における手順が適用される。広帯域繰り返し識別子情報要素が存在しない場合、B-ISUPにおける優先度サブフィールドは、“優先度順に並べられている：昇順”と設定される。
- 注13：狭帯域低位レイヤ整合性情報要素は、繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931を参照）。上記注2の手順が適用される。
- 注14：狭帯域高位レイヤ整合性情報要素は、繰り返され得る（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931を参照）。上記注12（TTC注）の手順が適用される。広帯域繰り返し識別子情報要素が存在しない場合、B-ISUPにおける優先度サブフィールドは、“優先度順に並べられている：昇順”と設定される。
(TTC注)：本標準が準拠しているITU-T勧告Q.2650の誤記を訂正している。
- 注15：OAMトラフィック記述子は、網内を透過に転送される。
- 注16：経過識別子情報要素がDSS2で繰り返される場合、それらはB-ISUPにおいて優先度サブフィールドが“優先度順位はない”を伴う単一の経過識別子パラメータで転送される。
- 注17：広帯域低位レイヤ情報パラメータに広帯域低位レイヤ情報が複数多重されている場合は、それぞれ個別の広帯域低位レイヤ情報要素にマッピングされる。
- 注18：狭帯域伝達能力パラメータに狭帯域伝達能力が複数多重されている場合は、それぞれ個別の狭帯域伝達能力情報要素にマッピングされる。

- 注19：狭帯域低位レイヤ整合性パラメータに狭帯域低位レイヤ整合性が複数多重されている場合は、それぞれ個別の狭帯域低位レイヤ整合性情報要素にマッピングされる。
- 注20：狭帯域高位レイヤ整合性パラメータに狭帯域高位レイヤ整合性が複数多重されている場合は、それぞれ個別の狭帯域高位レイヤ整合性情報要素にマッピングされる。
- 注21：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。
- 注22：AALパラメータ情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 付属資料 c を参照）。単独もしくは最初の情報要素はAALパラメータにマッピングされる。
AALパラメータ情報要素は一つのみAALパラメータにマッピングされ、網内を転送される。
繰り返される場合、2つ目以降の情報要素はAALプライムパラメータにマッピングされる。繰り返し識別子情報要素は本パラメータの繰り返し表示サブフィールドにマッピングされる。
- 注23：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）。情報要素に含まれる各情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。
- 注24：エンド・エンド中継遅延情報要素を受信しない場合は、エンド・エンド中継遅延網生成識別子パラメータが網側で生成され、その値は“網設定”に設定される。受信したエンド・エンド中継遅延情報要素に網生成識別子サブフィールドが含まれる場合は、エンド・エンド中継遅延網生成識別子パラメータが網側で生成され、その値は“網設定”に設定される。受信したエンド・エンド中継遅延情報要素に網生成識別子サブフィールドが含まれない場合は、エンド・エンド中継遅延網生成識別子パラメータが網側で生成され、最大エンド・エンド遅延サブフィールドが情報要素に含まれるとき、その値は“ユーザ投入”に設定され、最大エンド・エンド遅延サブフィールドが情報要素に含まれないとき、その値は“網設定”に設定される。
- 注25：広帯域報告種別情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 付属資料 c を参照）。単独もしくは最初の情報要素は報告種別パラメータにマッピングされる。繰り返される場合、2つ目以降の情報要素は報告種別プライムパラメータにマッピングされる。B-ISUP における優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定されなければならない。
- 注26：このマッピングは、複数加入者番号またはダイレクトダイヤル・イン付加サービスにおいてのみ適用される。

表4 - 2 / JT - Q 2 6 5 0 分割発呼における後続アドレス情報のマッピング #
(ITU-T Q.2650) #

表 4 - 3 / J T - Q 2 6 5 0 アドレス完了(ACM)とは独立した呼出(ALERT)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 ALERT	網 CPG	着ユーザ / 網 ALERT
呼出 (ALERT)	呼経過 (CPG)	呼出 (ALERT)
広帯域報告種別	報告種別	広帯域報告種別
-	着ユーザ表示： 着ユーザ状態表示 = 呼出中	-
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力
経過識別子：経過内容 = インバンド信号ないし適当なパターンが利用可能	インバンド情報表示：インバンド情報表示 = インバンド情報または適切なパターンが現在有効	-
経過識別子 (注 2)	経過識別子 (注 1)	経過識別子
通知識別子	通知 (注 3)	通知識別子

#

注 1：経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。

注 2：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。

注 3：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）。情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表4 - 4 / JT - Q 2 6 5 0 呼出(ALERT)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 ALERT	網 ACM	着ユーザ / 網 ALERT
呼出 (ALERT)	アドレス完了 (ACM)	呼出 (ALERT)
広帯域報告種別	報告種別	広帯域報告種別
-	着ユーザ表示： 着ユーザ状態表示 = 呼出中	-
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力
経過識別子：経過内容 = インバンド信号ないし適当なパターンが利用可能	インバンド情報表示：インバンド情報表示 = インバンド情報または適切なパターンが現在有効	-
経過識別子 (注2)	経過識別子 (注1)	経過識別子
通知識別子	通知 (注3)	通知識別子

#

注1：経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。

注2：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。

注3：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931を参照）。情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表4 - 5 / JT - Q 2 6 5 0 応答(CONN)のマッピング、非自動応答端末の場合
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 CONN	網 ANM	着ユーザ / 網 CONN
応答 (CONN)	応答 (ANM)	応答 (CONN)
AALパラメータ	AALパラメータ	AALパラメータ
ABR設定パラメータ	ATC設定パラメータ	ABR設定パラメータ
ATMトラヒック記述子	ATMセルレート (注4) 追加 ATM セルレート (注4)	ATMトラヒック記述子
広帯域低位レイヤ情報	広帯域低位レイヤ情報	広帯域低位レイヤ情報
広帯域報告種別	報告種別 (注7) 報告種別プライム (注7)	広帯域報告種別
CDVT記述子	セル遅延変動許容値 (注5)	CDVT記述子
エンド・エンド中継遅延	呼履歴情報 (注1)	エンド・エンド中継遅延
拡張QoSパラメータ	拡張QoSパラメータ	拡張QoSパラメータ
リンクレイヤコアパラメータ	リンクレイヤコアパラメータ	リンクレイヤコアパラメータ
リンクレイヤプロトコルパラメータ	リンクレイヤプロトコルパラメータ	リンクレイヤプロトコルパラメータ
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性
狭帯域低位レイヤ整合性	狭帯域低位レイヤ整合性	狭帯域低位レイヤ整合性
通知識別子	通知 (注6)	通知識別子
経過識別子 (注3)	経過識別子 (注2)	経過識別子
OAMトラヒック記述子	OAMトラヒック記述子	OAMトラヒック記述子

#

- 注1：適用される場合、着ユーザからの累計中継遅延値は、着交換機において呼履歴情報にマッピングされ、発交換機において累計中継遅延値にマッピングしなおされる。
- 注2：経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。
- 注3：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。
- 注4：ピークセルレートサブフィールドはATMセルレートパラメータにマッピングされる。 #
さらにサブフィールドが存在する場合は、追加ATMセルレートパラメータにマッピングされる。 #
- 注5：逆方向セル遅延変動許容値のみがマッピングされる。
- 注6：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931を参照）情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。
- 注7：広帯域報告種別情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC標準JT-Q2931 #
付属資料cを参照）。単独もしくは最初の情報要素は報告種別パラメータにマッピングされる。繰 #
り返される場合、2つ目以降の情報要素は報告種別プライムパラメータにマッピングされる。 #
B-ISUPにおける優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定されなければならない。 #

表 4 - 6 / J T - Q 2 6 5 0 アドレス完了(ACM)とは独立した経過表示(PROG)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 PROG	← 網 CPG	← 着ユーザ / 網 PROG
経過表示 (PROG)	呼経過 (CPG)	経過表示 (PROG)
-	着ユーザ表示： 着ユーザ状態表示 = 表示なし	-
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性
通知識別子	通知 (注 4)	通知識別子
経過識別子：経過内容 = インバンド信号ないし適当なパターンが利用可能 (注 3)	インバンド情報表示：インバンド情報表示 = インバンド情報または適切なパターンが現在有効	-
経過識別子 (注 2、3)	経過識別子 (注 1)	経過識別子

注 1：経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。

注 2：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。

注 3：送るべき経過識別子情報要素の数が、DSS2 で許容される最大値を超える場合、追加の経過識別子情報要素は別の経過表示メッセージで送られる。

注 4：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表 4 - 7 / J T - Q 2 6 5 0 経過表示(PROG)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 PROG	← 網 ACM	← 着ユーザ / 網 PROG
経過表示 (PROG)	アドレス完了 (ACM)	経過表示 (PROG)
-	着ユーザ表示： 着ユーザ状態表示 = 表示なし	-
狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力	狭帯域伝達能力
狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性	狭帯域高位レイヤ整合性
通知識別子	通知 (注 4)	通知識別子
経過識別子：経過内容 = インバンド信号ないし適当なパターンが利用可能 (注 3)	インバンド情報表示：インバンド情報表示 = インバンド情報または適切なパターンが現在有効	-
経過識別子 (注 2、3)	経過識別子 (注 1)	経過識別子

注 1：経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。

注 2：経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。

注 3：送るべき経過識別子情報要素の数が、DSS2 で許容される最大値を超える場合、追加の経過識別子情報要素は別の経過表示メッセージで送られる。

注4：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表4 - 8 / JT - Q 2 6 5 0 コネクション使用可 (CONN AVAIL) のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 CONN AVAIL	→	網 COA	→	着ユーザ / 網 CONN AVAIL
コネクション使用可 (CONN AVAIL)		コネクション使用可 (COA)		コネクション使用可 (CONN AVAIL)
広帯域報告種別		広帯域報告種別		広帯域報告種別
通知識別子		通知 (注)		通知識別子

#

注：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

(TTC注)：COA (コネクション利用可) は、TTC 標準 JT-Q2725.2 第1版ではMOC (変更完了) と呼んでいるメッセージと同一メッセージである。

4.2 メッセージシーケンス

本節では、完了呼の呼設定手順のインタワーキングメッセージシーケンスを示す。なお、各メッセージシーケンスには、「アドレス」(IAM)メッセージへのローカルな応答である「アドレス確認」(IAA)メッセージも示されている。

マッピングされないメッセージについては、明確化のために“ X ”を矢印の先頭に記述している。オプションメッセージは破線の矢印で示されている。

4.2.1 一括発呼、着UNIメッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信、非自動応答端末

図4-1 / JT-Q2650 に、一括発呼時、着UNIからのメッセージの受信に先だって「アドレス完了」(ACM)メッセージを送信する場合、着ユーザが非自動応答端末である場合の、完了呼の呼設定時のメッセージシーケンスを示す。

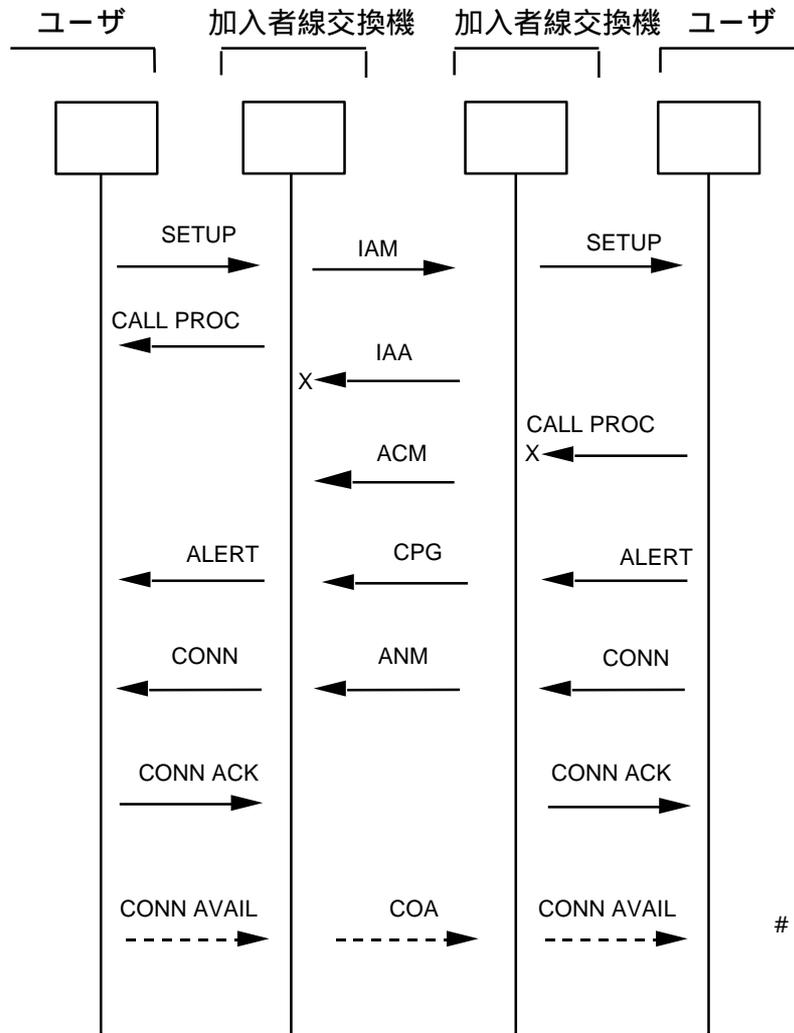


図 4 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 一括発呼、着 UNI メッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM) (ITU-T Q.2650) メッセージの送信、非自動応答端末

4.2.2 一括発呼、着 UNI メッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信、自動応答端末

図 4-2 / JT-Q2650 に、一括発呼時、着 UNI からのメッセージの受信に先だって「アドレス完了」(ACM)メッセージを送信する場合で、着ユーザが自動応答端末である場合の、完了呼の呼設定時のメッセージシーケンスを示す。

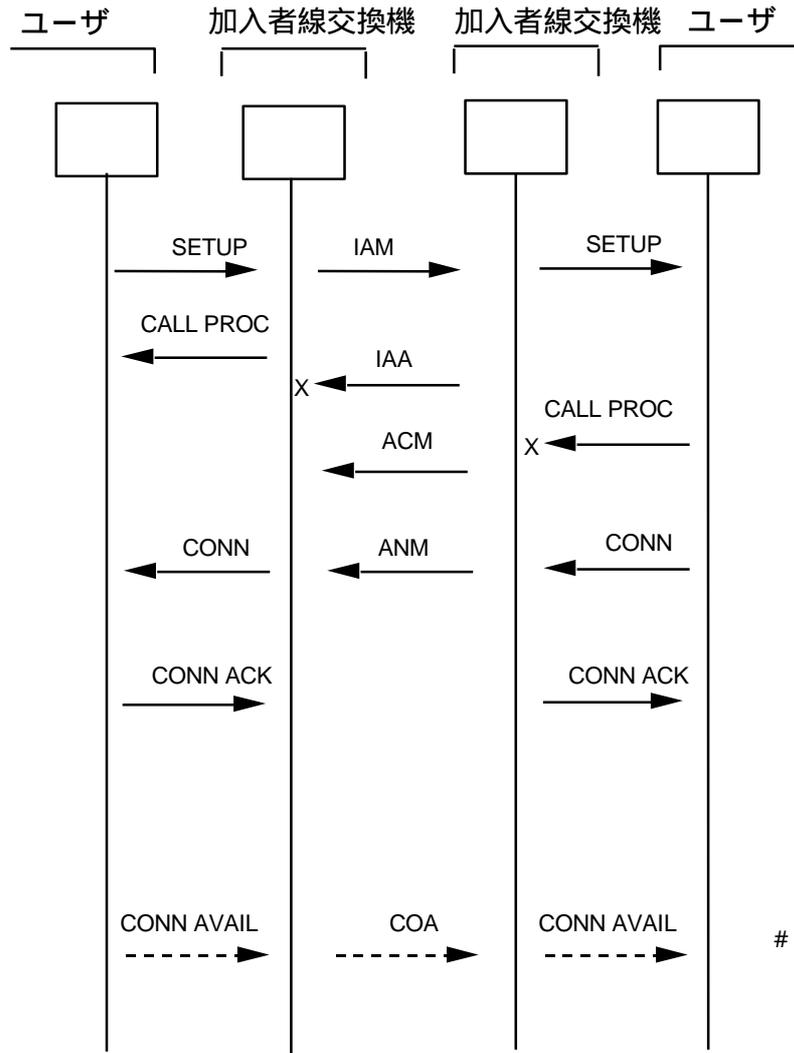


図 4 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 一括発呼、着 UNI メッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信、自動応答端末 (ITU-T Q.2650)

4.2.3 一括発呼、非自動応答端末の場合

図 4-3 / JT-Q2650 に、一括発呼時、非自動応答端末からの「呼出」(ALERT)メッセージの受信後に「アドレス完了」(ACM)メッセージを送信する場合の、完了呼の呼設定メッセージシーケンスを示す。

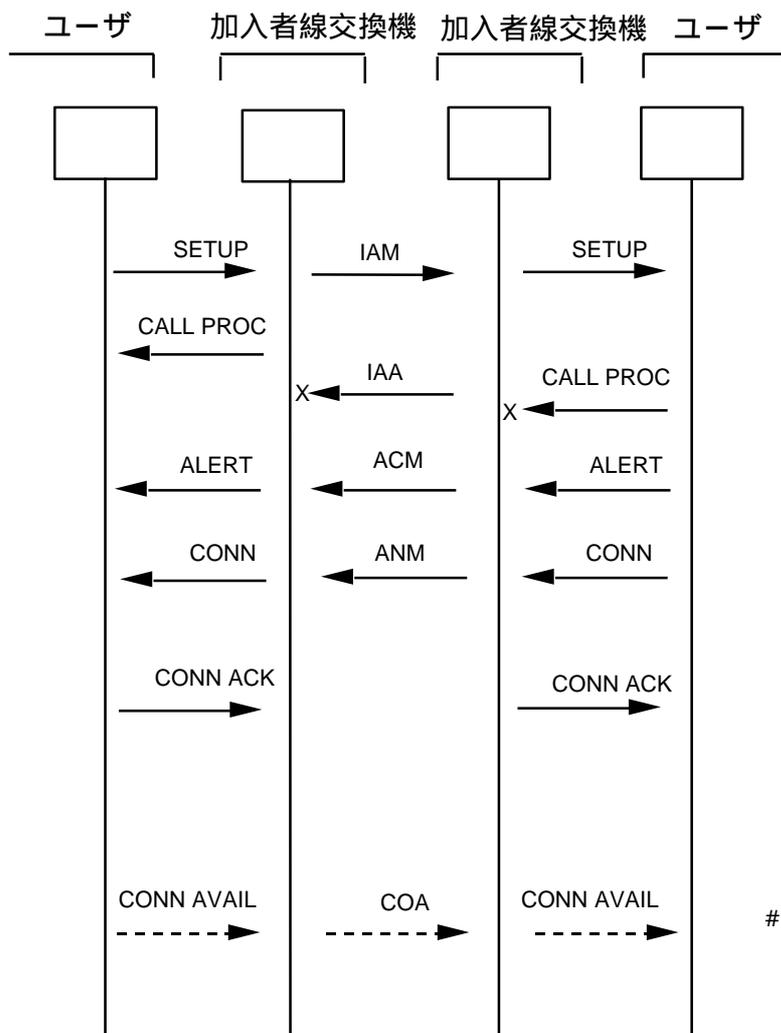


図 4 - 3 / J T - Q 2 6 5 0 一括発呼、非自動応答端末の場合
(ITU-T Q.2650)

4.2.4 一括発呼、自動応答端末の場合

図 4-4 / JT-Q2650 に、一括発呼時、「アドレス完了」(ACM)メッセージを送信しない場合の、完了呼の呼設定メッセージシーケンスを示す。

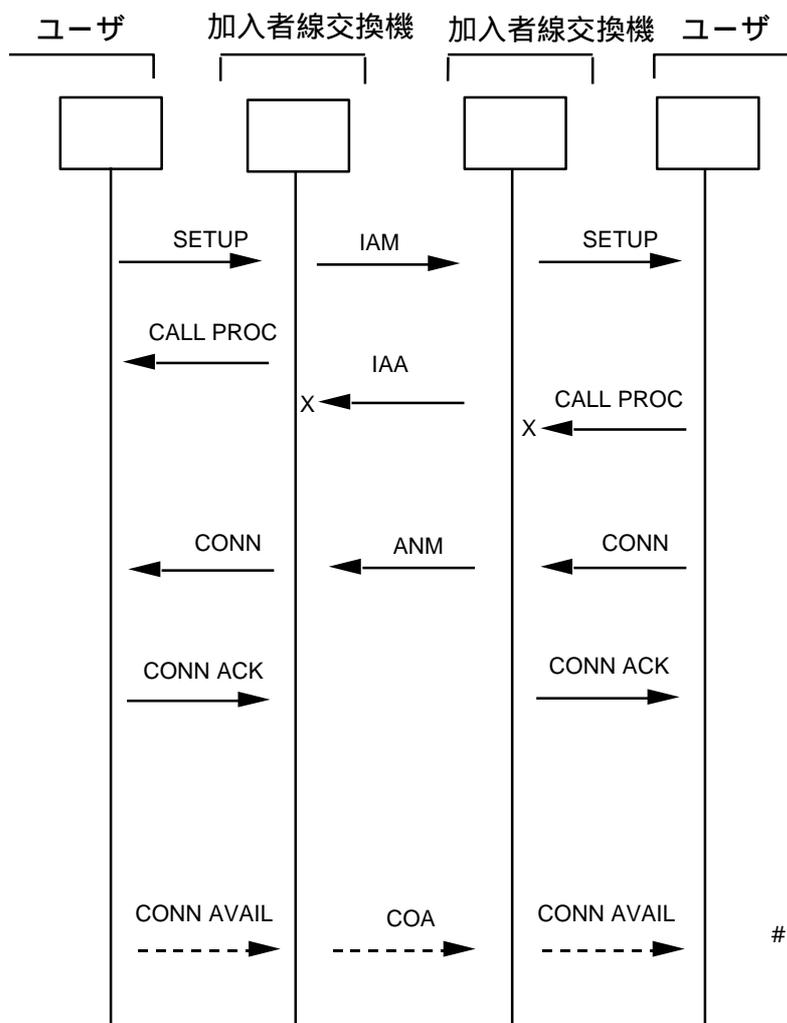


図 4 - 4 / J T - Q 2 6 5 0 一括発呼、自動応答端末の場合
(ITU-T Q.2650)

4.2.5 発 UNI が分割発呼、非自動応答端末の場合

#

図 4 - 5 / J T - Q 2 6 5 0 発 UNI が分割発呼、非自動応答端末の場合
(ITU-T Q.2650)

#

#

4.2.6 発 UNI が分割発呼、網がオーバーラップ転送、非自動応答端末の場合

#

図 4 - 6 / J T - Q 2 6 5 0 発 UNI が分割発呼、網がオーバーラップ転送、非自動応答端末の場合
(ITU-T Q.2650)

#

#

4.2.7 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ、着UNIメッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信

図 4-7 / JT-Q2650 に、公衆網外との相互接続を示すために DSS2 において「経過表示」(PROG)メッセージが使用される場合のメッセージシーケンスを示す。

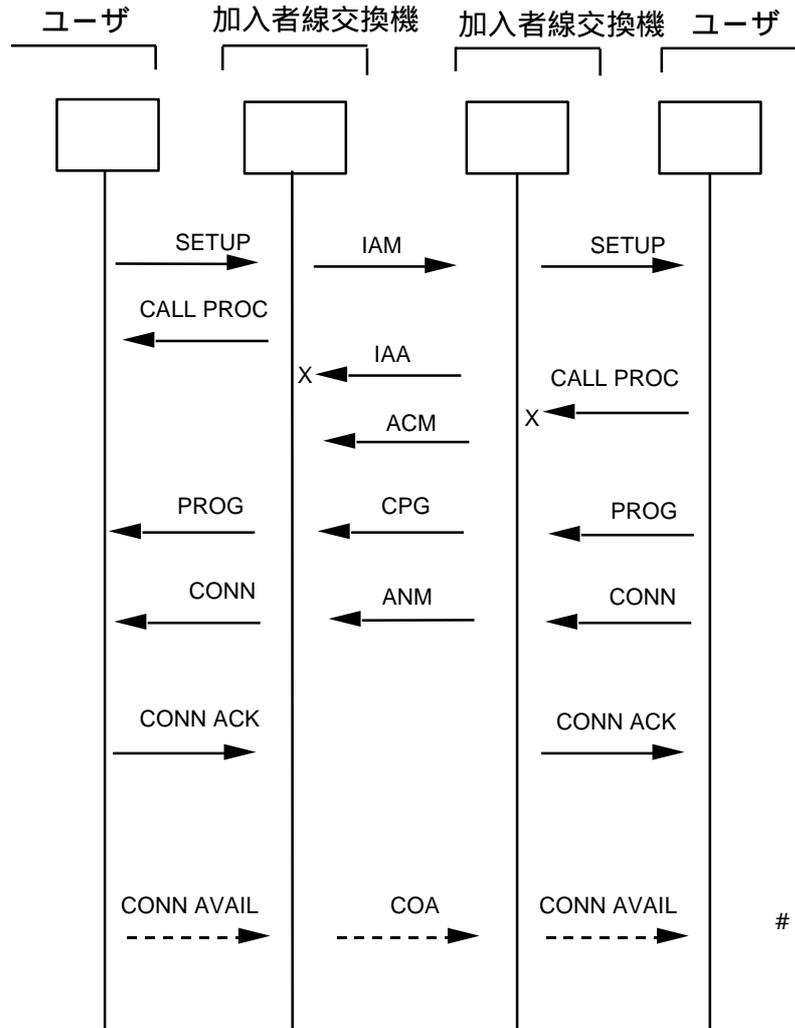


図 4 - 7 / J T - Q 2 6 5 0 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ、着UNIメッセージとは独立した「アドレス完了」(ACM)メッセージの送信 (ITU-T Q.2650)

4.2.8 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ

図4-8/JT-Q2650に、「アドレス完了」(ACM)メッセージを着UNIメッセージに対応させる場合で、「経過表示」(PROG)メッセージを「アドレス完了」(ACM)メッセージにマッピングする場合を示す。

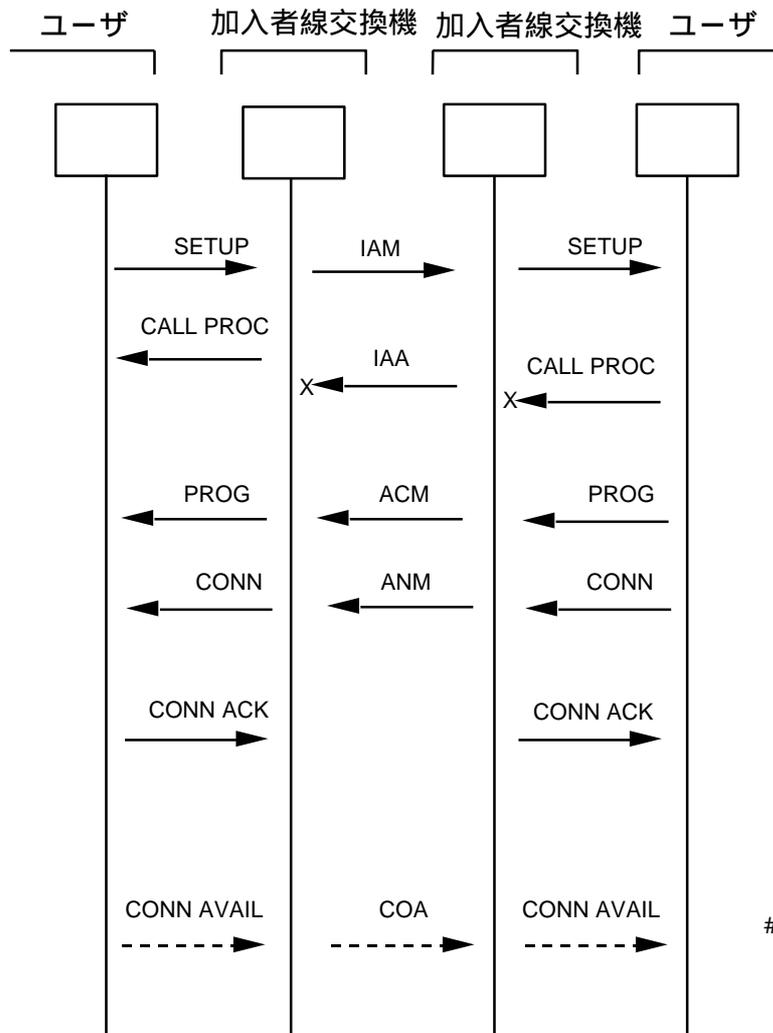


図4-8/JT-Q2650 ユーザ生成「経過表示」(PROG)メッセージ
(ITU-T Q.2650)

5. 呼解放手順におけるインタワーキング規定

5.1 マッピング表

本節では、呼解放手順に関連するパラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。(表 5-1 / JT-Q2650 参照)

表 5 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 B-ISDN 呼の解放手順におけるパラメータのマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 REL	→	網 REL	→	着ユーザ / 網 REL
解放 (REL)		解放 (REL)		解放 (REL)
理由表示		理由表示		理由表示
通知識別子		通知 (注 3)		通知識別子
経過識別子 (注 1)		経過識別子 (注 2)		経過識別子

注 1 : 経過識別子情報要素は繰り返されうる。繰り返された場合、全ての情報要素は単一の経過識別子パラメータにマッピングされ、優先度サブフィールドは“優先度順位はない”に設定される。

注 2 : 経過識別子パラメータに経過識別子が複数多重されている場合は、それぞれ個別の経過識別子情報要素にマッピングされる。

注 3 : 通知識別子情報要素は繰り返されうる (許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照)。情報要素に含まれるそれぞれの情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

6. 不完了呼の呼設定手順におけるインタワーキング規定

6.1 マッピング表

本節では、不完了呼の呼設定手順に関連するパラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。(表 6-1 及び表 6-2 / JT-Q2650 参照)

表 6 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 DSS2「解放完了」(REL COMP)メッセージの情報要素のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 REL	←	網 REL	←	着ユーザ / 網 REL COMP
解放 (REL)		解放 (REL)		解放完了 (REL COMP)
理由表示		理由表示		理由表示

表 6 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 B-ISUP「アドレス拒否」(IAR)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 REL	←	網 IAR	←	着ユーザ / 網
解放 (REL)		アドレス拒否 (IAR)		-
理由表示		理由表示		-

6.2 メッセージシーケンス

本節では、不完了呼の呼設定手順のインタワーキングメッセージシーケンスを示す。

6.2.1 不完了呼の呼設定

図 6-1 / JT-Q2650 に、インバンドトーン / アナウンスが提供されない場合 (例えば、64kbit/s 非制限ベアラ サービス) の不完了呼の呼設定時のメッセージシーケンスを示す。着側交換機にて DSS2 「解放完了」 (REL COMP) メッセージは B-ISUP 「解放」 (REL) メッセージにマッピングされる。発側交換機にて B-ISUP 「解放」 (REL) メッセージは DSS2 「解放」 (REL) メッセージにマッピングされる。

図 6-2 / JT-Q2650 に、発側交換機にて「アドレス拒否」 (IAR) メッセージが DSS2 「解放」 (REL) メッセージにマッピングされる場合の不完了呼の呼設定時のメッセージシーケンスを示す。

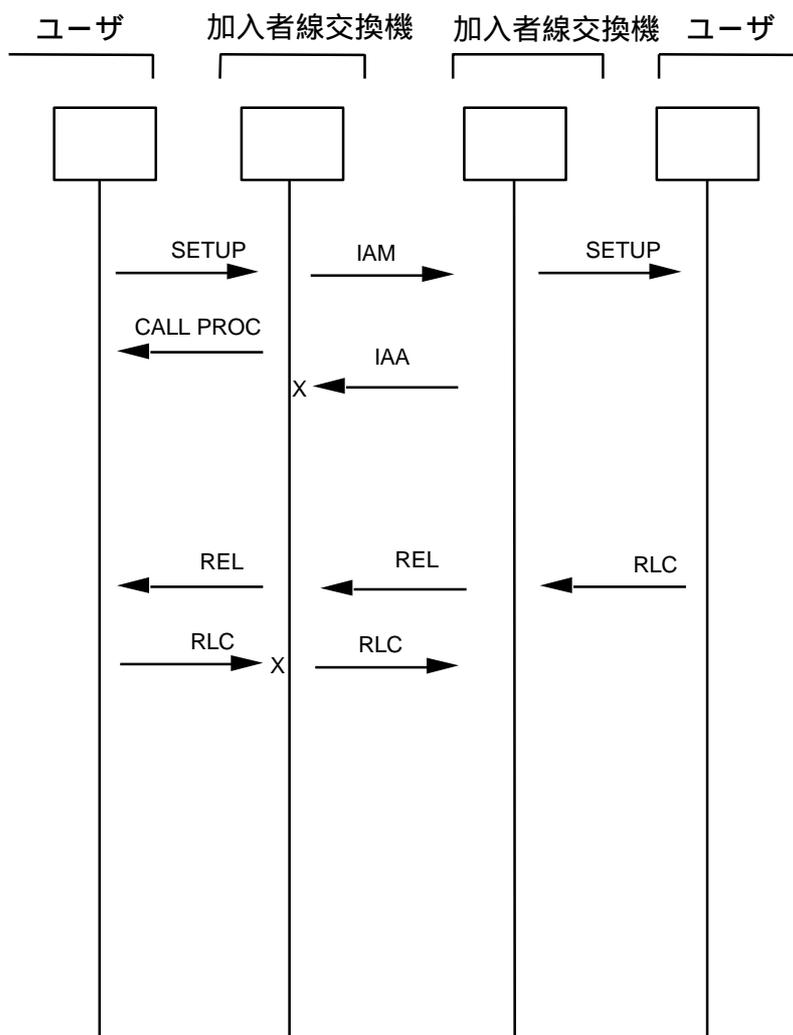


図 6 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 不完了呼の呼設定
(ITU-T Q.2650)

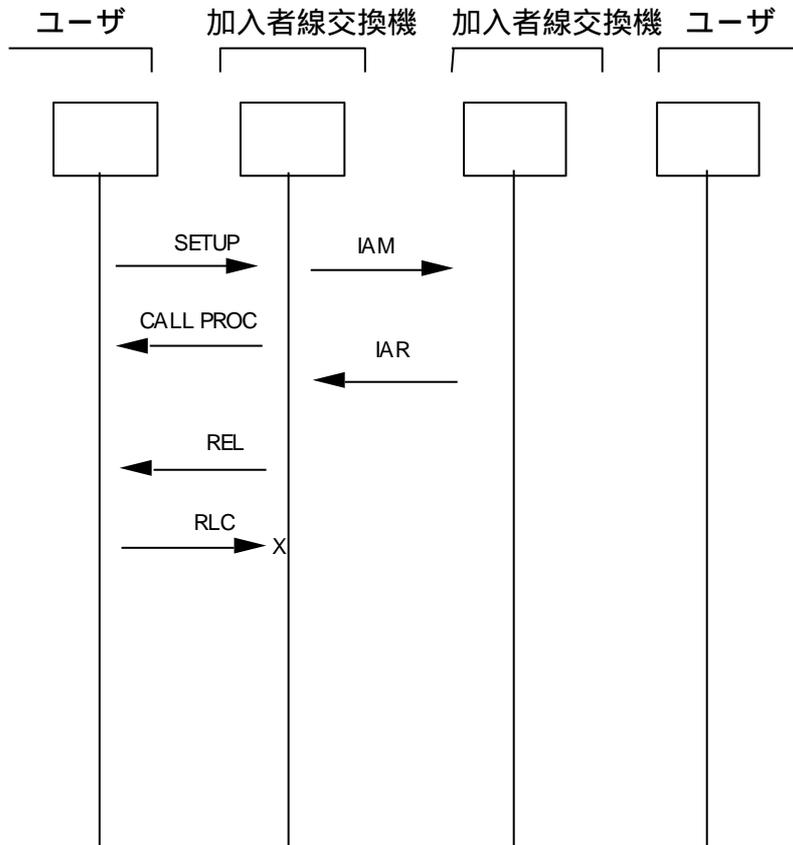


図 6 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 不完了呼の呼設定
(ITU-T Q.2650)

7 . その他の手順におけるインタワーキング規定

7.1 変更

本節では、変更手順に関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

7.1.1 マッピング表

表 7-1 ~ 表 7-4 / JT-Q2650 参照。

表 7 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 変更要求(MOD)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 MOD REQ	網 MOD	着ユーザ / 網 MOD REQ
変更要求 (MOD REQ)	変更要求 (MOD)	変更要求 (MOD REQ)
ATMトラヒック記述子	ATMセルレート 追加 ATM セルレート (注 1) #	ATMトラヒック記述子
代替 ATMトラヒック記述子	代替 ATM セルレート	代替 ATM トラヒック記述子
最小許容 ATMトラヒック記述子	最小 ATMセルレート	最小許容 ATMトラヒック記述子
通知識別子	通知 (注 2)	通知識別子

#

注1：ピークセルレートはATMセルレートパラメータにマッピングされる。

サステナブルセルレートまたは最大バーストサイズは追加 ATM セルレートパラメータにマッピングされる。

注2：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931を参照）。情報要素に含まれる各情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表7-2 / JT-Q2650 変更確認(MOA)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ/網 MOD ACK	← 網 MOA	← 着ユーザ/網 MOD ACK
変更確認 (MOD ACK)	変更確認 (MOA)	変更確認 (MOD ACK)
ATMトラヒック記述子	ATMセルレート 追加ATMセルレート(注1)	ATMトラヒック記述子
広帯域報告種別(注2)	報告種別(注2)	広帯域報告種別(注2)
通知識別子	通知(注3)	通知識別子

注1：ATMトラヒック記述子情報要素のサステナブルセルレート及び最大バーストサイズサブフィールドだけが追加ATMセルレートパラメータにマッピングされる。ピークセルレートサブフィールドはATMセルレートパラメータにマッピングされる。

注2：本パラメータはオプションである確認手順を着ユーザが要求した場合にのみ転送される。

注3：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931を参照）。情報要素に含まれる各情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表7-3 / JT-Q2650 変更拒否(MOR)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ/網 MOD REJ	← 網 MOR	← 着ユーザ/網 MOD REJ
変更拒否 (MOD REJ)	変更拒否 (MOR)	変更拒否 (MOD REJ)
理由表示	理由表示	理由表示
通知識別子	通知(注)	通知識別子

注：通知識別子情報要素は繰り返されうる（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931を参照）。情報要素に含まれる各情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

表 7 - 4 / J T - Q 2 6 5 0 コネクション使用可(COA)のマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 CONN AVAIL	→	網 COA	→	着ユーザ / 網 CONN AVAIL
コネクション使用可 (CONN AVAIL)		コネクション使用可 (COA)		コネクション使用可 (CONN AVAIL)
通知識別子		通知(注)		通知識別子

注：通知識別子情報要素は繰り返される（許容される繰り返し回数については、TTC 標準 JT-Q2931 を参照）。情報要素に含まれる各情報要素はそれぞれ個別の通知パラメータにマッピングされる。

(TTC 注)：COA (コネクション利用可) は、TTC 標準 JT-Q2725.2 第 1 版では MOC (変更完了) と呼んでいるメッセージと同一メッセージである。

7.1.2 メッセージシーケンス

本節では、変更手順の成功例及び失敗例のインタワーキングメッセージシーケンスを示す。

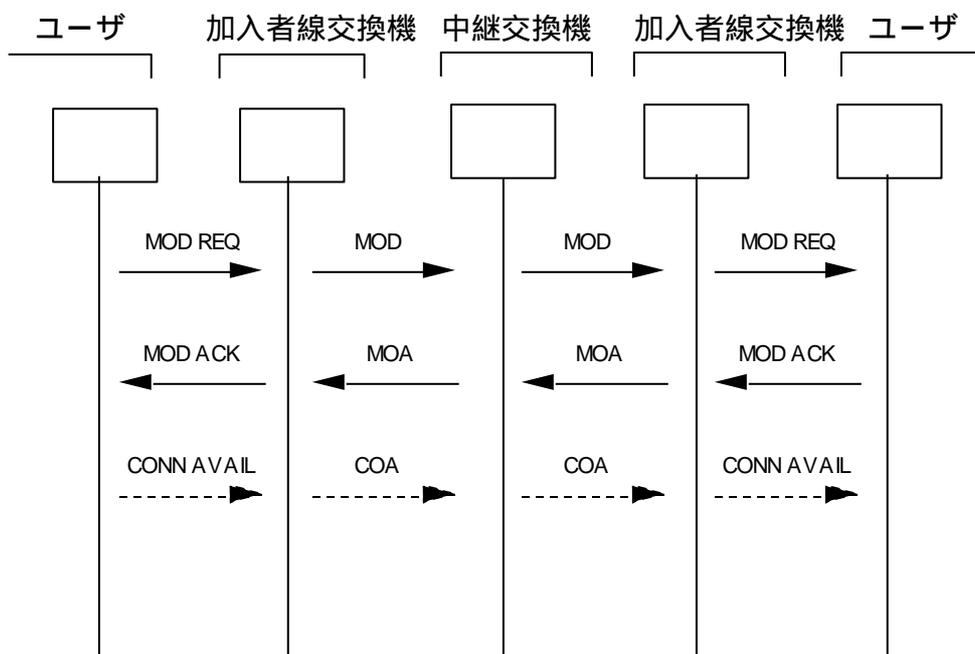


図 7 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 変更手順成功例
(ITU-T Q.2650)

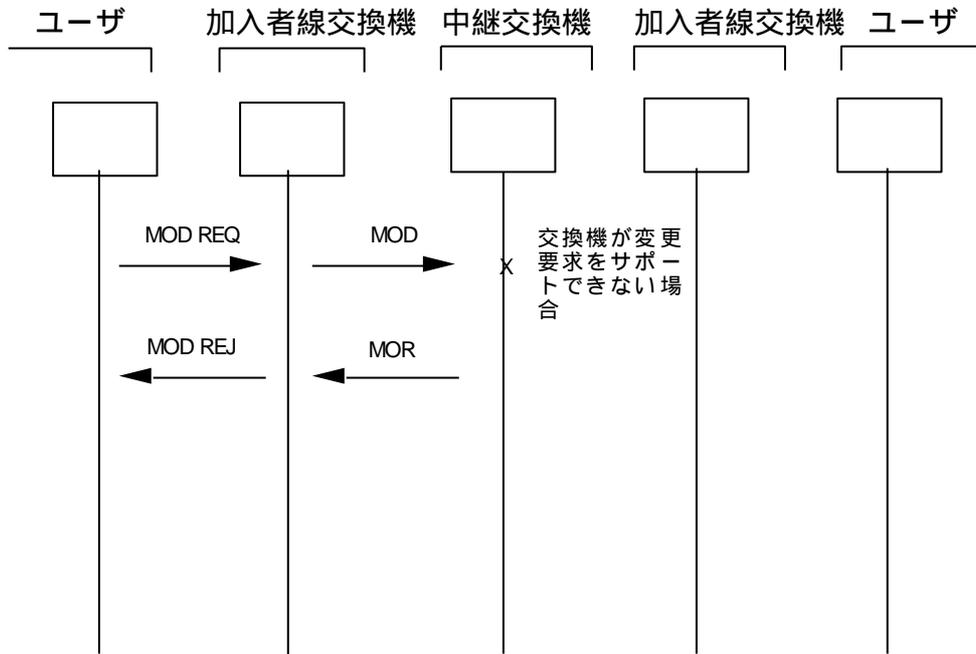


図7 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 変更手順失敗例
(ITU-T Q.2650)

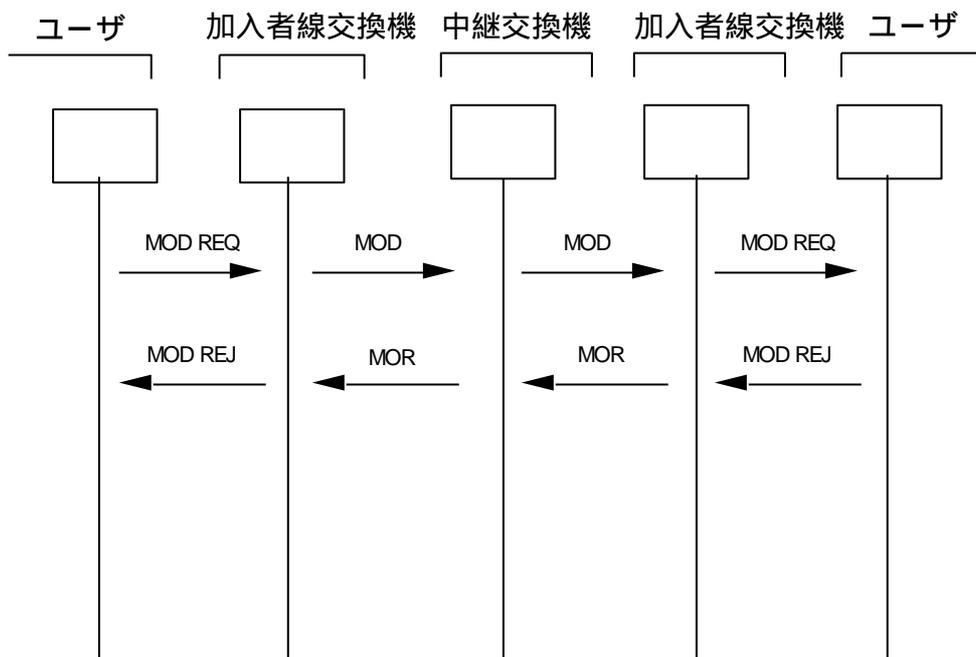


図7 - 3 / J T - Q 2 6 5 0 変更手順失敗例
(ITU-T Q.2650)

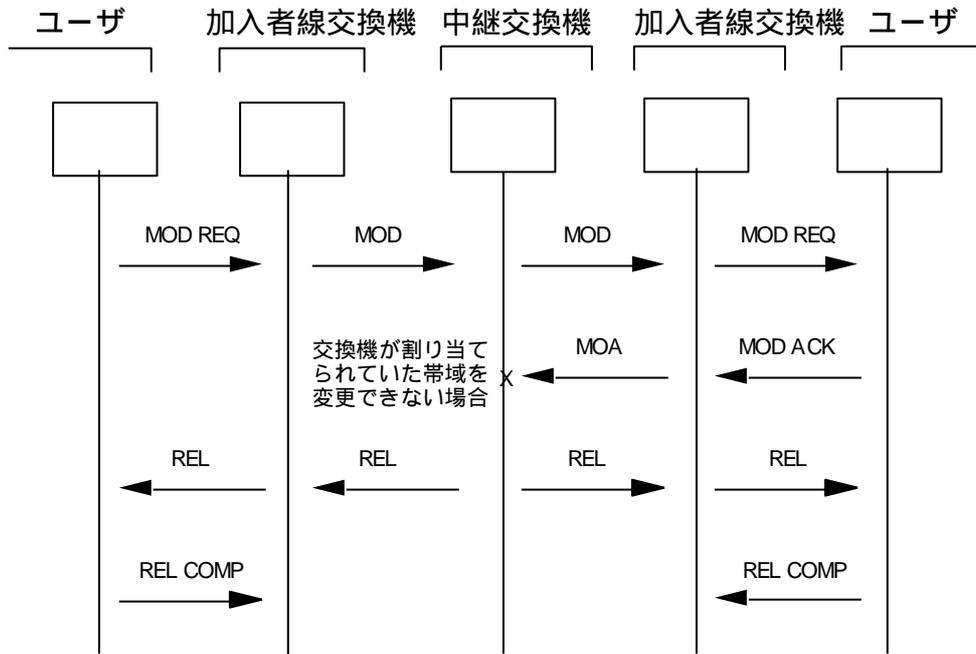


図7 - 4 / J T - Q 2 6 5 0 変更手順失敗例
(ITU-T Q.2650)

(TTC注) : 中継交換機は「変更要求」(MOD)メッセージ送信時に帯域を予約するため本シーケンスは通常起こり得ないが、ITU-T 勧告 Q.2650 で規定されているため本標準でも規定として残す。

8 . B-ISDN 付加サービスにおけるインタワーキング規定

(TTC 注 : まだ TTC 標準として規定されていない ITU-T 勧告を参照している付加サービスは、本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

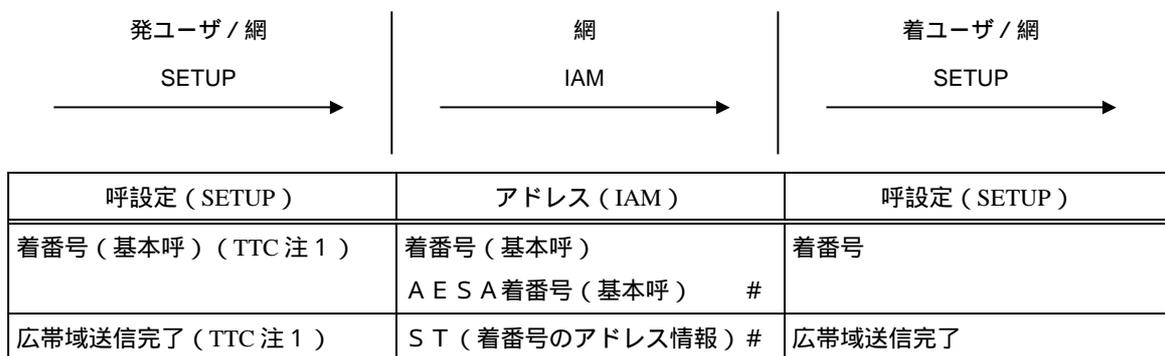
8.1 ダイレクトダイヤルイン(DDI)

本節では、ダイレクトダイヤルイン(DDI)付加サービスに関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

8.1.1 マッピング表

表 8-1 ~ 表 8-2 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



(TTC 注 1 : ITU-T 勧告 Q.2650 には記述がないが、漏れと思われるため記述する)

表 8 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 分割発呼における後続アドレス情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)

#

8.1.2 メッセージシーケンス

#

図 8 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 発 / 着アクセスおよび網内での分割、ACM に
(ITU-T Q.2650) マッピングされた CALL PROC

#

8.2 複数加入者番号(MSN)

本節では、複数加入者番号(MSN)付加サービスに関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

8.2.1 マッピング表

表 8-3 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 3 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング (ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 SETUP 	網 IAM 	着ユーザ / 網 SETUP 
呼設定 (SETUP)	アドレス (IAM)	呼設定 (SETUP)
着番号 (基本呼) (TTC注1)	着番号 (基本呼) A E S A 着番号 (基本呼) #	着番号 (注)
広帯域送信完了 (TTC注1)	S T (着番号のアドレス情報) #	広帯域送信完了

(TTC注1：ITU-T 勧告 Q.2650 には記述がないが、漏れと思われるため記述する)

注：受信した着番号情報要素内の複数加入者番号は、ISDN 番号の一部であるか、または、網提供者のオプションとして、網から受信した ISDN 番号からマッピングされる番号である。

8.3 発信者番号通知(CLIP) / 発信者番号通知制限(CLIR)

#

(TTC注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、発信者番号通知(CLIP) / 発信者番号通知制限(CLIR)付加サービスに関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

8.3.1 マッピング表

表 8-4 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 4 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



発ユーザ / 網	網	着ユーザ / 網
網検証		
発番号	発番号 (注 1) A E S A 発番号 (注 1)	発番号 (注 1)
網検証無し		
発番号	付加発番号 (注 1) A E S A 付加発番号 (注 1) 発番号 (注 1) A E S A 発番号 (注 1)	発番号 (注 1) 発番号 (注 1、注 2)
発サブアドレス	発サブアドレス	発サブアドレス

注 1：マッピングは番号フォーマットに依存する。詳細は ITU T 勧告 Q.2730 参照。

注 2：2つの発番号情報要素通知オプションの提供が必要である。

8.4 接続先番号通知(COLP)/ 接続先番号通知制限(COLR)

#

(TTC 注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、接続先番号通知(COLP)/接続先番号通知制限(COLR)付加サービスに関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

8.4.1 マッピング表

表 8-5 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 5 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 SETUP →	網 IAM →	着ユーザ / 網 SETUP →
発ユーザ / 網	網	着ユーザ / 網
-	接続先回線識別要求：本パラメータは網によって生成される	-

8.4.2 マッピング表

表 8-6 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 6 / J T - Q 2 6 5 0 「応答」(CONN)メッセージと応答(ANM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)

発ユーザ / 網 CONN ←	網 ANM ←	着ユーザ / 網 CONN ←
発ユーザ / 網	網	着ユーザ / 網
網検証		
接続先番号 (注 1)	接続先番号 (注 1) A E S A 接続先番号 (注 1)	接続先番号
網検証無し		
接続先番号 (注 1)	付加接続先番号 (注 1) A E S A 付加接続先番号 (注 1) 接続先番号 (注 1) A E S A 接続先番号 (注 1)	接続先番号
接続先サブアドレス	接続先サブアドレス	接続先サブアドレス

注 1：マッピングは番号フォーマットに依存する。詳細は ITU T 勧告 Q.2730 参照。

8.5 サブアドレス(SUB)

本節では、サブアドレス(SUB)付加サービスに関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

8.5.1 マッピング表

表 8-7 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 7 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



注：着サブアドレスは必ず網により転送されるが、着信ユーザがサブアドレス付加サービスに加入している場合に限り送信される。

8.6 UUS1 付加サービスにおける相互接続

本節では、ユーザ・ユーザ情報転送サービス 1 (UUS1)付加サービス(暗黙的要求)に関連するメッセージ、パラメータおよび情報要素のマッピング表を示す。

8.6.1 マッピング表

表 8-8 / JT-Q2650 参照。

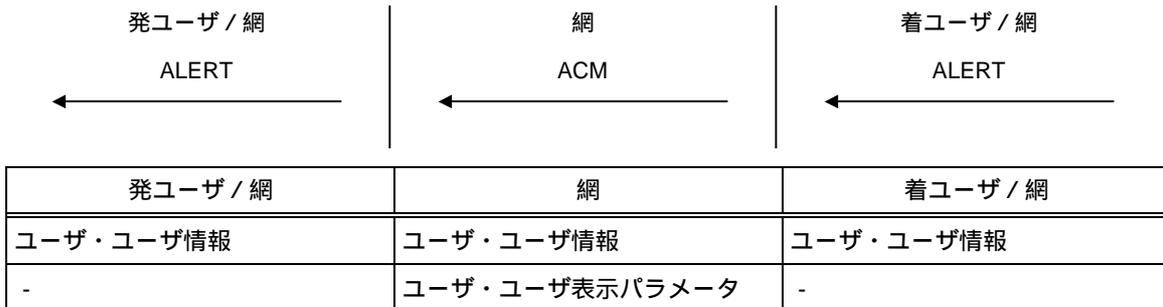
表 8 - 8 / J T - Q 2 6 5 0 「呼設定」(SETUP)メッセージとアドレス(IAM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



8.6.2 マッピング表

表 8-9 / JT-Q2650 参照。

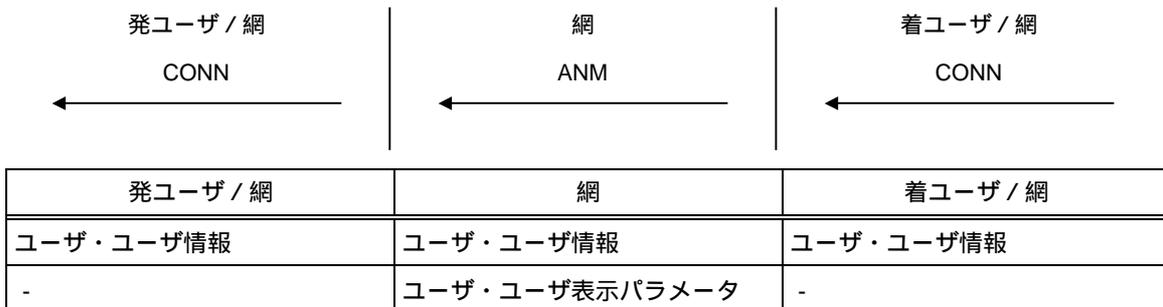
表 8 - 9 / J T - Q 2 6 5 0 「呼出」(ALERT)メッセージとアドレス完了(ACM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



8.6.3 マッピング表

表 8-10 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 1 0 / J T - Q 2 6 5 0 「接続」(CONN)メッセージと応答(ANM)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



8.6.4 マッピング表

表 8-11 / JT-Q2650 参照。

表 8 - 1 1 / J T - Q 2 6 5 0 「解放」(REL)メッセージまたは「解放完了」(REL COMP)メッセージと解放(REL)メッセージのマッピング
(ITU-T Q.2650)



8.7 閉域接続(CUG)

#

(TTC注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、閉域接続付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

8.7.1 マッピング表

ITU-T 勧告 Q.2735.1 参照。

9 . B-ISDN で提供されない N-ISDN 付加サービスにおけるインタワーキング規定

本章では、B-ISDN に含まれない付加サービスにおけるインタワークについて示す。本インタワークは N-ISDN とのインタワーク時に発生する (図 9-1 / JT-Q2650 参照) 。

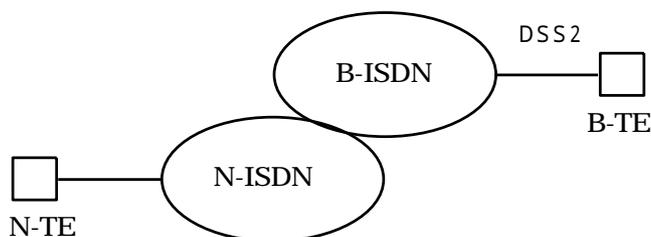


図 9 - 1 / J T - Q 2 6 5 0
(ITU-T Q.2650)

9.1 ビジー時着信転送(CFB)

本節では、ビジー時着信転送付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.1.1 マッピング表

表 9-1 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 1 / J T - Q 2 6 5 0 ビジー時着信転送(CFB)情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)

アドレス (IAM)	アドレス (IAM)	呼設定 (SETUP)
転送元番号	転送元番号	-
着信転送情報	着信転送情報	-
第一着番号	第一着番号	-

9.2 無応答時着信転送(CFNR)

9.1 節参照。

9.3 無条件着信転送(CFU)

9.1 節参照

9.4 呼毎着信転送(CD)

9.1 節参照

9.5 コールウェイティング(CW)

通知情報は B-ISDN において透過的に転送される。

9.6 保留(HOLD)

(TTC 注 : 保留付加サービス仕様は、ITU-T 勧告に対応する TTC 標準としては現時点では規定されていないが、保留手順は TTC 標準 JT-Q932 で規定されているため、本インタワーク規定は有効である。)

通知情報は B-ISDN において透過的に転送される。

9.7 会議通話(CONF) - アッドオン

#

(TTC 注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

通知メッセージは B-ISDN において透過的に扱われる。

9.8 三者通話(3PTY)

#

(TTC 注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

通知メッセージは B-ISDN において透過的に扱われる。

9.9 端末移動(TP)

(TTC 注 : 端末移動付加サービス仕様は、ITU-T 勧告に対応する TTC 標準としては現時点では規定されていないが、端末移動手順は TTC 標準 JT-Q931 で規定されているため、本インタワーク規定は有効である。)

本節では、端末移動付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.9.1 マッピング表

表 9-2 / JT-Q2650 及び表 9-3 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 2 / J T - Q 2 6 5 0 中断手順のマッピング
(ITU-T Q.2650)

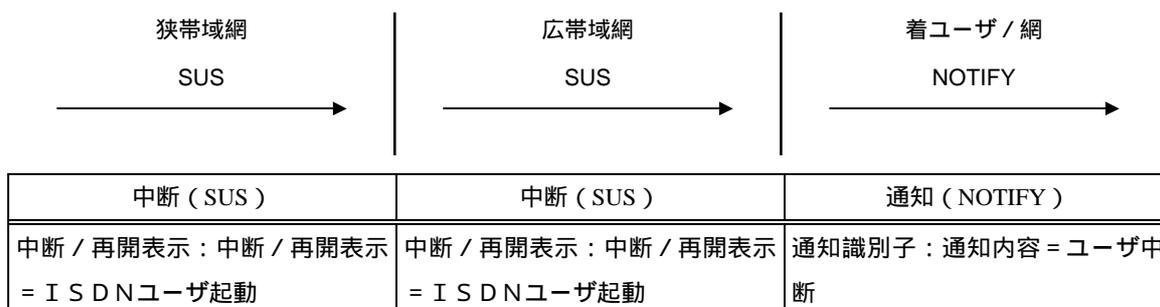
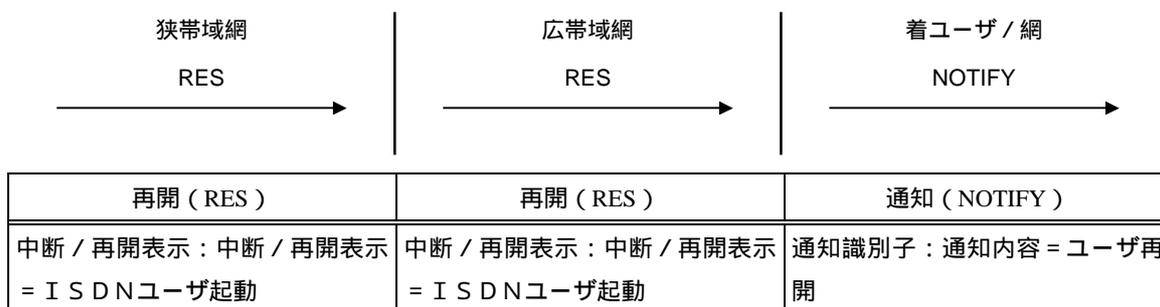


表 9 - 3 / J T - Q 2 6 5 0 再開手順のマッピング
(ITU-T Q.2650)



9.10 優先割り込み(MLPP)

#

(TTC注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

MLPP 優先パラメータは廃棄されなければならない。

9.11 ユーザ・ユーザ情報転送サービス 1 (UUS1) (明白な要求)

本節では、ユーザ・ユーザ情報転送サービス 1 (明白な要求) 付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピングを示す。

9.11.1 マッピング表

表 9-4 / JT-Q2650 及び表 9-5 / JT-Q2650 参照。

表9 - 4 / J T - Q 2 6 5 0 UUS1 付加サービスを要求、必須の場合の UUS1 情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)

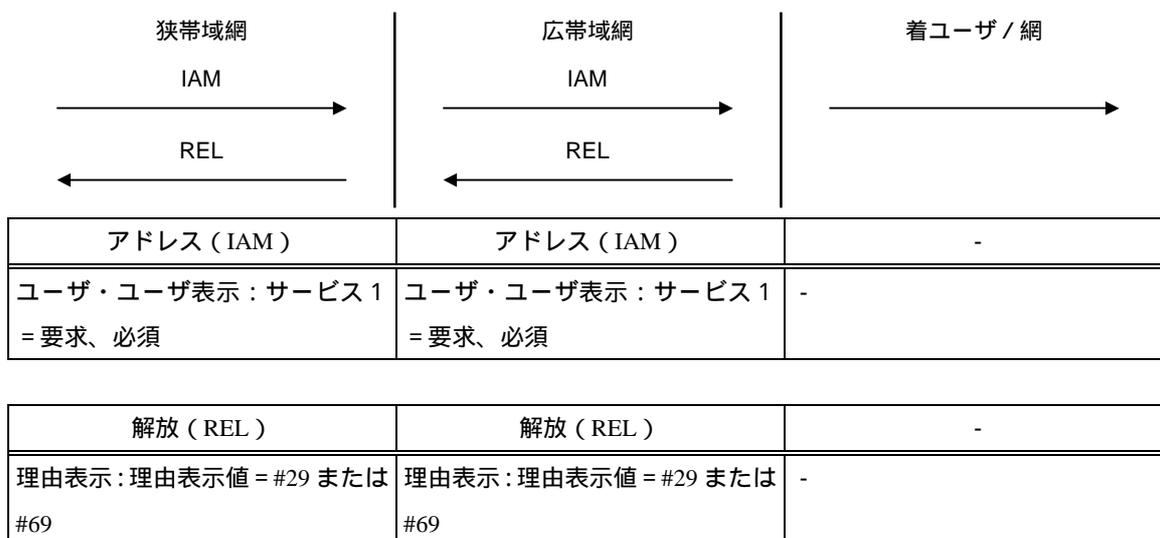
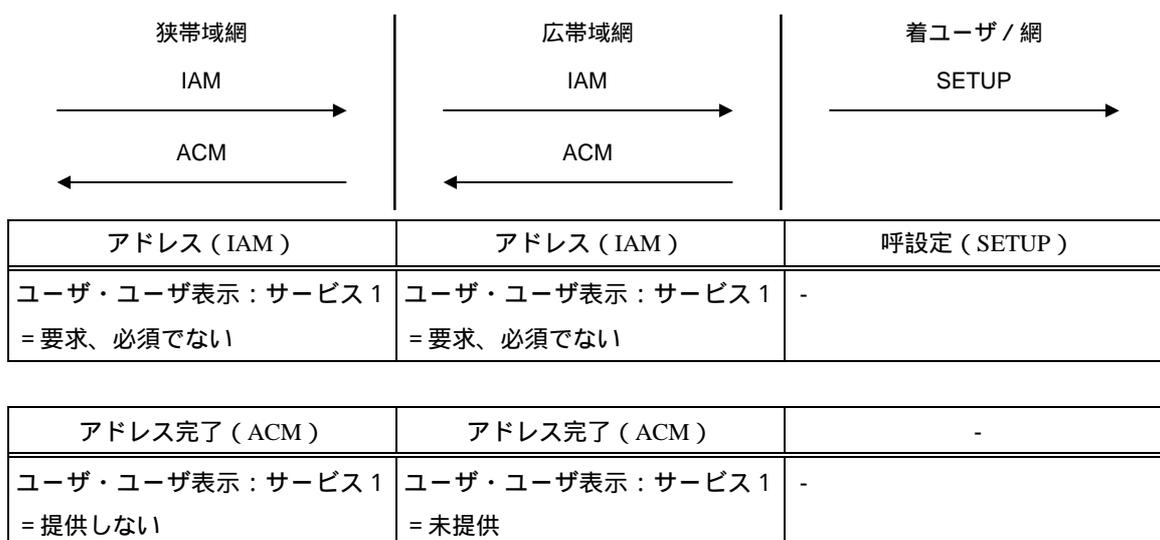


表9 - 5 / J T - Q 2 6 5 0 UUS1 付加サービスを要求、必須でない場合の UUS1 情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)



9.12 ユーザ・ユーザ情報転送サービス 2 (UUS2)

#

(TTC注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、ユーザ・ユーザ情報転送サービス 2 付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピングを示す。

9.12.1 マッピング表

表 9-6 / JT-Q2650 及び表 9-7/JT-Q2650 参照。

表 9 - 6 / J T - Q 2 6 5 0 UUS2 付加サービスを要求、必須の場合の UUS2 情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 IAM → ← REL	広帯域網 IAM → ← REL	着ユーザ / 網
アドレス (IAM)	アドレス (IAM)	-
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 要求、必須	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 要求、必須	-
解放 (REL)	解放 (REL)	-
理由表示 : 理由表示値 = #29 または #69	理由表示 : 理由表示値 = #29 または #69	-

表 9 - 7 / J T - Q 2 6 5 0 UUS2 付加サービスを要求、必須でない場合の UUS2 情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 IAM → ← ACM	広帯域網 IAM → ← ACM	着ユーザ / 網 SETUP →
アドレス (IAM)	アドレス (IAM)	呼設定 (SETUP)
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 要求、必須でない	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 要求、必須でない	-
アドレス完了 (ACM)	アドレス完了 (ACM)	-
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 提供しない	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 2 = 未提供	-

9.13 ユーザ・ユーザ情報転送サービス 3 (UUS3)

#

(TTC 注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、ユーザ・ユーザ情報転送サービス 3 付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピングを示す。

9.13.1 マッピング表

表 9-8 / JT-Q2650、表 9-9 / JT-Q2650 及び表 9-10 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 8 / J T - Q 2 6 5 0 呼設定中に UUS3 付加サービスを要求、必須の場合の UUS3 情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 IAM → ← REL	広帯域網 IAM → ← REL	着ユーザ / 網 →
アドレス (IAM)	アドレス (IAM)	-
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 要求、必須	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 要求、必須	-
解放 (REL)	解放 (REL)	-
理由表示 : 理由表示値 = #29 または #69	理由表示 : 理由表示値 = #29 または #69	-

表 9 - 9 / J T - Q 2 6 5 0 呼設定中に UUS3 付加サービスを要求、必須でない場合の UUS3 情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 IAM → ← ACM	広帯域網 IAM → ← ACM	着ユーザ / 網 SETUP →
アドレス (IAM)	アドレス (IAM)	呼設定 (SETUP)
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 要求、必須でない	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 要求、必須でない	-
アドレス完了 (ACM)	アドレス完了 (ACM)	-
ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 提供しない	ユーザ・ユーザ表示 : サービス 3 = 未提供	-

表 9 - 1 0 / J T - Q 2 6 5 0 呼設定後に UUS3 付加サービスが要求された場合の UUS3 情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 FAR 	広帯域網 USR 	着ユーザ / 網
ファシリティ要求 (FAR)	ユーザ・ユーザ情報 (USR)	-
ユーザ・ユーザ表示：サービス 3 = 要求、必須でない	ユーザ・ユーザ表示：サービス 3 = 要求、必須でない	-
ファシリティ拒否 (FRJ)	ユーザ・ユーザ情報 (USR)	-
ユーザ・ユーザ表示：サービス 3 = 提供しない	ユーザ・ユーザ表示：サービス 3 = 未提供	-

9.14 イクスプリシット・コールトランスファ(ECT)

(TTC 注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

本節では、イクスプリシット・コールトランスファ付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.14.1 マッピング表

表 9-11 / JT-Q2650、表 9-12 / JT-Q2650 及び表 9-13 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 1 1 / J T - Q 2 6 5 0 ファシリティ(FAC)メッセージのイクスプリシット・コールトランスファ(ECT)情報のマッピング (ITU-T Q.2650)

狭帯域網 FAC 	広帯域網 CTM 	着ユーザ / 網
ファシリティ (FAC)	呼転送 (CTM)	-
コールトランスファ番号	コールトランスファ番号	-
アクセス転送	発サブアドレス	-
汎用通知識別子	通知	-
サービス活性化：呼転送	送信しない	-

注：加入者線交換機では呼転送 (CTM) メッセージを破棄すべきである。

表9 - 1 2 / J T - Q 2 6 5 0 呼経過(CPG)メッセージの明示的呼転送(ECT)情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)

狭帯域網 CPG	広帯域網 CPG	着ユーザ/網 NOTIFY
→	→	→
呼経過 (CPG)	呼経過 (CPG)	通知 (NOTIFY)
コールトランスファ番号	コールトランスファ番号	送信しない
汎用通知識別子	通知	通知識別子

表9 - 1 3 / J T - Q 2 6 5 0 ループ防止(LOP)メッセージの明示的呼転送(ECT)情報のマッピング
(ITU-T Q.2650)

狭帯域網 LOP	広帯域網 LOP	着ユーザ/網
→	→	
ループ防止 (LOP)	ループ防止 (LOP)	-
ループ防止表示	ループ防止表示	-
コールトランスファ参照	コールトランスファ参照	-

注：加入者線交換機ではループ防止 (LOP) メッセージを破棄すべきである。

9.15 悪意呼通知(MCID)

#

(TTC 注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

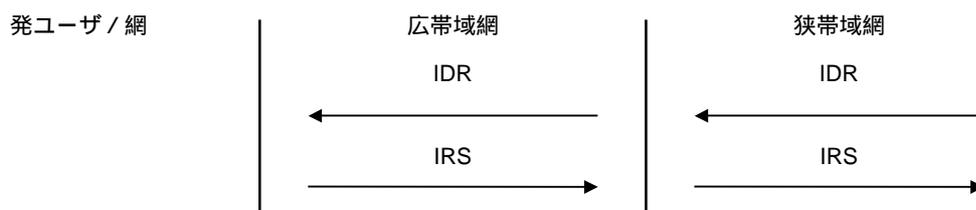
本節では、悪意呼通知付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.15.1 マッピング表

表 9-14 / JT-Q2650 及び表 9-15 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 1 4 / J T - Q 2 6 5 0 悪意呼通知(MCID)情報利用可の場合の悪意呼通知(MCID)情報のマッピング

(ITU-T Q.2650)

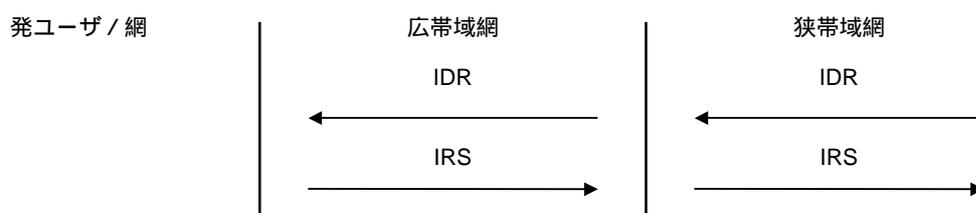


-	番号要求 (IDR)	番号要求 (IDR)
-	MCID 要求表示 : MCID 要求	MCID 要求表示 : MCID 要求

-	番号応答 (IRS)	番号応答 (IRS)
-	MCID 応答表示 : MCID 含む	MCID 応答表示 : MCID 含む
-	発番号	発番号
-	付加発番号	汎用番号
-	発サブアドレス	アクセス転送

表 9 - 1 5 / J T - Q 2 6 5 0 悪意呼通知(MCID)情報利用不可の場合の悪意呼通知(MCID)情報のマッピング

(ITU-T Q.2650)



-	番号要求 (IDR)	番号要求 (IDR)
-	MCID 要求表示 : MCID 要求	MCID 要求表示 : MCID 要求

-	番号応答 (IRS)	番号応答 (IRS)
-	MCID 応答表示 : MCID 含まず	MCID 応答表示 : MCID 含まず

9.16 話中時再呼出 (CCBS)

#

(TTC注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

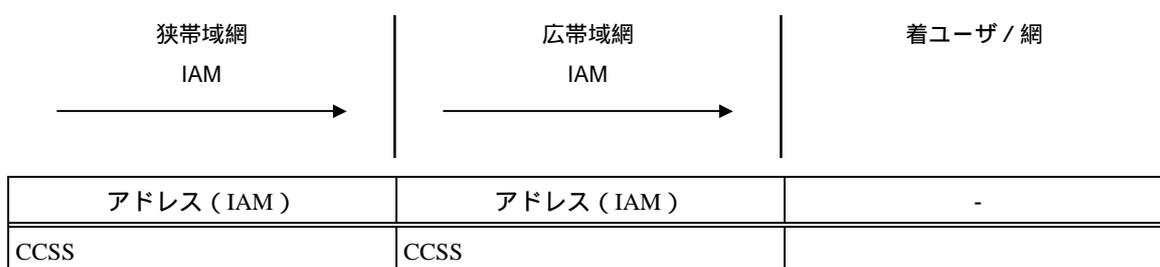
本節では、話中時再呼出付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.16.1 マッピング表

表 9-16 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 1 6 / J T - Q 2 6 5 0 アドレス(IAM)メッセージにおける再呼出サービス設定(CCBS)情報のマッピング

(ITU-T Q.2650)



注：加入者線交換機では CCSS (TTC 注 1) パラメータを破棄すべきである。

(TTC 注 1：ITU-T 勧告 Q.2650 では CCBS パラメータとなっているが、明らかな間違いと思われるので CCSS パラメータとする。)

9.17 無応答時再呼出(CCNr)

#

(TTC注：本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)

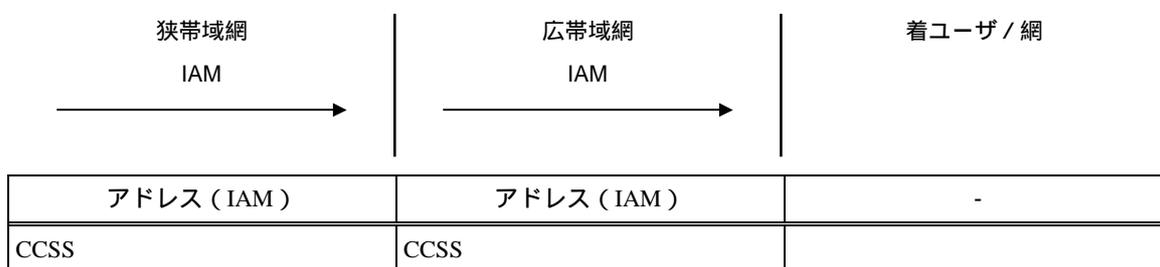
本節では、無応答時再呼出付加サービスと関連するメッセージ、パラメータ及び情報要素のマッピング表を示す。

9.17.1 マッピング表

表 9-17 / JT-Q2650 参照。

表 9 - 1 7 / J T - Q 2 6 5 0 アドレス(IAM)メッセージにおける再呼出サービス設定(CCBS)情報のマッピング

(ITU-T Q.2650)



注：加入者線交換機では CCSS (TTC 注 1) パラメータを破棄すべきである。

(TTC 注 1 : ITU-T 勧告 Q.2650 では CCBS パラメータとなっているが、明らかな間違いと思われるので CCSS パラメータとする。)

9.18 グローバル仮想網サービス(GVNS)

#

(TTC 注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)
DSS2 情報要素と B-ISUP パラメータ間のマッピングは不要である。

9.19 着信課金

#

(TTC 注 : 本節における記述は本標準による規定の対象外であるが、参考のために記述する。)
DSS2 情報要素と B-ISUP パラメータ間のマッピングは不要である。

第2版作成協力者(2001年1月24日現在)

第一部門委員会

委員長	菅 俊直	(株)ディーディーアイ
副委員長	和泉 俊勝	日本電信電話(株)
副委員長	新保 勲	(株)日立製作所
委員	今成 浩巳	東京通信ネットワーク(株)
委員	山口 健二	日本電気(株)
委員	坪井 洋治	WG1-1 委員長・富士通(株)
委員	片野 俊樹	WG1-1 副委員長・日本電信電話(株)
委員	大塚 宗丈	WG1-2 委員長・日本電信電話(株)
委員	平野 郁也	WG1-2 副委員長・日本無線(株)
委員	堀口 勇夫	WG1-2 副委員長・沖電気工業(株)
委員	竹原 啓五	WG1-3 委員長・(株)ディーディーアイ
委員	菅原 昌久	WG1-3 副委員長・東日本電信電話(株)
委員	川西 素春	WG1-3 副委員長・沖電気工業(株)
委員	高瀬 晶彦	WG1-4 委員長・(株)日立製作所
委員	奈須野 裕	WG1-4 副委員長・日本テレコム(株)
委員	中島 賢二	WG1-4 副委員長・東日本電信電話(株)
委員	長山 和弘	IN 委員長・日本電信電話(株)
委員	鈴木 茂房	UPT 委員長・日本電信電話(株)
委員	吉田 龍彦	TMN 委員長・日本電信電話(株)
委員	益田 淳	TMN 副委員長・(株)ディーディーアイ

(注) WG1-xx : 第一部門委員会 第 xx(xx 特別)専門委員会

第一部門委員会 第一専門委員会

委員長	坪井 洋治	富士通(株)
副委員長	片野 俊樹	SWG1 リーダ・日本電信電話(株)
委員	新保 勲	副部門委員長・(株)日立製作所
委員	片山 直樹	ケーブルアンド・ワイヤレス・アイティーン(株)
委員	野崎 雅洋	SWG3,4 リーダ・(株)ディーディーアイ
委員	海崎 文孝	SWG7 リーダ・(株)ディーディーアイ
委員	原野 哲司	(株)ディーディーアイ
委員	小泉 仁	SWG2 リーダ・(株)ディーディーアイ
委員	佐口 雅広	東京通信ネットワーク(株)
委員	奈須野 裕	日本テレコム(株)
委員	大羽 巧	日本電信電話(株)
委員	平田 昇一	(株)エヌ・ティ・ティ・ドット・エス
委員	黄木 寛之	ジェイフォン東日本(株)
委員	野村 忠勝	中部テレコミュニケーション(株)
委員	國本 佳彦	(株)ツーカーホン関西
委員	目黒 喜治	大阪メディアポート(株)
委員	近 義起	DDIポケット(株)
委員	茶谷 尚土	(株)ジュピターテレコム
委員	羽田野 浩	東日本電信電話(株)
委員	徳永 茂樹	西日本電信電話(株)
委員	江崎 修司	SWG5 リーダ・西日本電信電話(株)
委員	後藤 雅徳	沖電気工業(株)
委員	田村 慶章	(株)東芝
委員	長谷川 茂夫	日本レセプト・テクノロジー(株)
委員	山口 健二	日本電気(株)
委員	境 穰	日本無線(株)
委員	高木 淳	モバイル・ネットワーク(株)
委員	小川 光康	富士通(株)
委員	大石 忠明	日本エリクソン(株)
委員	佐藤 孝一	日本情報通信コンサルティング(株)
事務局	佐藤 啓次	TTC 第1技術部

J T - Q 2 6 5 0 検討グループ(SWG6)

リーダー	片野 俊樹	日本電信電話(株)
特別専門委員	古川 浩史	東京通信ネットワーク(株)
特別専門委員	吉井 裕重	日本テレコム(株)
委員	大羽 巧	日本電信電話(株)
特別専門委員	澤田 政宏	(株)エヌ・ティ・ティ・データ
特別専門委員	石田 真英	(株)エヌ・ティ・ティ・データ
特別専門委員	岸本 豪	(株)エヌ・ティ・ティ・データ
特別専門委員	落合 浩一	沖電気工業(株)
特別専門委員	渡邊 一生	日本電気(株)
特別専門委員	馬場 健	(株)日立製作所
特別専門委員	中川 昌紀	富士通(株)
特別専門委員	松川 康一	三菱電機(株)